

工事費執行(変更)概要書		教育長	教育部長	次長	課長	課長補佐	課員	審査員	設計者	
執行年度 30 年度	工事名	H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事								
	工事場所	石岡市東石岡四丁目2番1号								
設計(変更)概要			施工方法	請負・委託						
H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事			原契約年月日	平成 30年 月 日						
1 改修工事 1F配膳室内装改修 23.11 m <sup>2</sup>			工 期	平成 30年 月 日から						
2 増築工事 1F給食室を北側に別棟増築 17.16 m <sup>2</sup>				平成 30年 9月 15日まで 目間						
			請負人							
			費 用	起 工	第 回変更	第 回変更	増 減(△)			
			起 工 額	円	円	円	円			
			請負に付する額	円	円	円	円			
			工 事 価 格	円	円	円	円			
			消費税相当額	円	円	円	円			
			請負決定額	円	円	円	円			
変更理由			変更工事価格算定基準: 変更工事価格 = 変更積算工事価格 × $\frac{\text{起工時の請負決定額}}{\text{起工時の委託に付する額}}$ (少数第7位切り捨て6位止め)							
			変更積算工事価格 円		× 請負比率		= 変更積算工事価格 円			

本工事費内訳書							
番号	名称	品質・規格	数量	単位	単価	金額	備考
	H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事						
	[種目内訳]						
A	直接工事費		1.0	式			一般 処分費
B	共通費		1.0	式			
	工事価格	A+B					
	消費税相当額	8%					
	請負に付する額						

本 工 事 費 内 訳 書							
番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	单 価	金 領	備 考
B	共通費						
	共通仮設費		1.0	式			
	現場経費		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	契約保証費		1.0	式			
	共通費 計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	[科目内訳]						
A	直接工事費						
1	仮設・準備工事		1.0	式			
2	外装工事		1.0	式			
3	建具工事		1.0	式			
4	内装工事		1.0	式			
5	電気・機械工事		1.0	式			
	計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	单 価	金 額	備 考
	[細目内訳]						
1	準備・撤去工事						
	墨出し	増築	17.2	m <sup>2</sup>			
	墨出し	改修	23.0	m <sup>2</sup>			
	養生	増築	17.2	m <sup>2</sup>			
	養生	改修	23.0	m <sup>2</sup>			
	整理清掃・あと片付け	増築	17.2	m <sup>2</sup>			
	整理清掃・あと片付け	改修	23.0	m <sup>2</sup>			
	枠組本足場	W=900	73.0	m <sup>2</sup>			
	ネットシート張り		73.0	m <sup>2</sup>			
	仮設材運搬	枠組本足場	73.0	m <sup>2</sup>			

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	床ビニルシート撤去		18.7	m <sup>2</sup>			
	タテドイ撤去	鋼管	5.0	m			
	撤去材処分費	塩ビシート	0.1	t			
	同上 運搬費	2t車	1.0	台			
	床カッター入れ	厚150	13.0	m			
	壁貫通穴あけ	径100*厚200 ダイヤモンドカッター	12.0	ヶ所			
	犬走解体復旧		1.0	式			
	カッター入れ	30mm程度	2.4	m			
	壁穴ふさぎ		1.2	m			
	床穴あけ	径100*厚150 ダイヤモンドカッター	3.0	ヶ所			
	コンクリート流し込み		1.0	式			
	基礎コンクリート	24N	1.0	式			
	均しモルタル		2.2	m			

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	トラック荷台止め撤去		1.0	式			
	庇解体	鉄筋コンクリート	1.0	式			
	処分費	コンクリート	7.0	t			
	運搬	4t	2.0	台			
	小 計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	外装工事						
	軽量鉄骨	C-100*50*2.3	1.4	t			
	軽量鉄骨	L-150*150*6 通しボルト止め	11.7	m			
	床見切り	L-75*75*6,L-50*50*6(ZN)	1.0	式			
	床デッキ		3.3	m <sup>2</sup>			
	鉄骨運搬	4t車	1.0	台			
	鋸止め	K5674	160.8	m <sup>2</sup>			
	折版	付属品一式 ガルバニウム板厚0.6H=150	24.4	m <sup>2</sup>			
	笠木	175W	8.3	m			
	笠木コーナー	175W	2.0	ヶ所			
	笠木下雨押え	L=500	11.7	m			
	谷樋	ガルバニウム板厚0.4加工	6.5	m			
	堅樋	VP75	3.7	m			
	ガルバニウム板厚0.4	PB厚12.5下地共	42.7	m <sup>2</sup>			

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	外壁下部水切	アルミ	12.2	m			
	タテドイ切り廻し	VP100	1.0	式			
	小 計						
3	建具工事						
	SS-1 軽量シャッター	3000W*2600H	1.0	箇所			
	SD-1 片開きスチールドア	850W*2000H+600H	1.0	箇所			
	AW-1 縦すべり窓	1000H+850W*1000H+600H	1.0	箇所			
	SS-2 軽量シャッター	2550W*2590H	1.0	箇所			
	額、枠	スチール厚1.6 SOP	21.4	m			
	取付調整費			1.0	式		
	小 計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	内装工事						
	床 モルタル金ゴテ	厚50	16.7	m <sup>2</sup>			
	床見切り	SUS 3*12	6.5	m			
	素地ごしらえ		39.8	m <sup>2</sup>			
	塗り床	厚2 ウレタン 防滑	39.8	m <sup>2</sup>			
	巾木 塗り床材薄塗り	H100	26.6	m			
	壁 素地ごしらえ		40.1	m <sup>2</sup>			
	EP		40.1	m <sup>2</sup>			
	断熱材	GW厚100 24k	24.2	m <sup>2</sup>			
	PB厚12.5		24.2	m <sup>2</sup>			
	ケイカル板厚5		24.2	m <sup>2</sup>			
	EP	ボード面	24.2	m <sup>2</sup>			
	ワゴン当たり	ボルト固定@900 SUS角パイプ 50*30厚1.5加工	20.6	m			

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	コーナーピート	塩ビ H=1000 65*65	12.0	m			
	天井 LGS		15.9	m <sup>2</sup>			
	断熱材	GW厚100 24k	15.9	m <sup>2</sup>			
	ケイカル板厚5	目スカシ	15.9	m <sup>2</sup>			
	素地ごしらえ		15.9	m <sup>2</sup>			
	EP		15.9	m <sup>2</sup>			
	天井廻り縁	塩ビ	17.9	m			
	天井点検口	450*450 アルミ	1.0	ヶ所			
	小 計						

## 本 工 事 費 内 訳 書

番号	名 称	品 質・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	電気・機械工事						
	SUS作業台 1500W*450D*800H		1.0	ヶ所			
	照明器具撤去		2.0	ヶ所			
	照明器具 開放埋込	LED-4400lm程度	4.0	箇所			
	外灯	NNY20360LEI LED-1500lm程度	1.0	箇所			
	天井換気扇	150径	1.0	ヶ所			
	スパイラルダクト	150径	1.0	m			
	SUS フード		1.0	ヶ所			
	機器取付		1.0	式			
	小 計						

## 特記仕様書（建築工事）

## I 工事概要

- 工事名 H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事
  - 工事場所 石岡市東石岡四丁目 2 番 1 号
  - 敷地面積 31,573 m<sup>2</sup>
  - 建設工事その他概要（建物名称、構造、階数、建築面積、延べ面積、各階床面積、等）
    - 工事範囲 ※「(2) 建物概要」すべて ◎「(2) 建物概要」のうち一部
    - 建物概要
    - (全体)

建物名称	教室棟	増築棟	
構 造	RC 造 一部 造	S 造 一部 造	造 一部 造
階 数	地上 4 階 地下 階	地上 1 階 地下 階	地上 階 地下 階
建築面積	954.33m <sup>2</sup>	18.48m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
延べ面積	3548.06m <sup>2</sup>	17.16m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>

(建物毎の各階床面積  $m^2$ )

建物名称	地下1階	1階	2階	3階	4階	5階	計

5. 別途工事
  - ・
  - ・
  6. 増築棟は確認申請書提出物件です、8月31日までに検査済証入手を完了させること。

## II 建 築 工 事 仕 様

- (1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、  
◎を付けたものを適用する。
- ◎公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成28年版）（以下、「標準仕様書」という。）
- ◎建築工事標準詳細図（平成28年版）（以下、「標準詳細図」という。）
- ・建築物解体工事共通仕様書（平成24年版）
- (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事は、それぞれの工事  
特記仕様書を適用する。
- (3) 本特記仕様書の表記
- 1) 項目は、番号に□のついたものを適用する。
  - 2) 特記事項は、◎印の付いたものを適用する。・印のみの場合は適用しない。  
◎印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
◎印と※印の付いた場合は、共に適用する。
  - 3) 特記事項に記載の（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図及び当該表を示す。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用区分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・風圧力               <ul style="list-style-type: none"> <li>風速 (<math>V_0 = \text{m/s}</math>)</li> <li>地表面粗度区分 ・ I            ・ II            ・ III            ・ IV</li> </ul> </li> <li>・積雪荷重               <ul style="list-style-type: none"> <li>平成 12 年 5 月 31 日建設省告示第 1455 号における区域 別表 ( )</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	② 環境への配慮	<p style="text-align: right;">(1. 4. 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</li> <li>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。</li> <li>②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。</li> <li>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。</li> <li>④①の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。</li> <li>(2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。</li> <li>①建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料</li> <li>②建築基準法施行令第 20 条の 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</li> <li>③建築基準法施行令第 20 条の 7 第 1 項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料</li> <li>④建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料</li> </ul>
	③ 材料の品質等	<p style="text-align: right;">(1. 4. 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。</li> <li>(2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督員の承諾を受ける。</li> <li>(3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。</li> <li>(4) 本工事に使用する材料のうち、(5) に指定する材料の製造業者等は次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。</li> <li>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。</li> <li>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。</li> <li>③安定的な供給が可能であること。</li> <li>④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。</li> <li>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。</li> <li>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。</li> </ul>

章	項目	特記事項																												
1 一般共通事項	③ 材料の品質等	<p>(5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料 無収縮グラウト材, 乾式保護材, 既製調合モルタル, 既製調合目地材, 錠前類, クローザ類, 自動扉機構, 自閉式上吊り引戸機構, 防水剤, 現場発泡断熱材, フリーアクセスフロア, 移動間仕切, トイレブース, 煙突用成形ライニング材, 天井点検口, 床点検口, グレーチング, 屋上緑化システム, エポキシ樹脂, ポリマーセメントモルタル, 床型枠用鋼製デッキプレート, 鉄骨柱下無収縮モルタル, ルーフドレン, 吸水調整材, 重量シャッター, 軽量シャッター, オーバーヘッドドア, 可動間仕切, トップライト, 鋳鉄製ふた</p> <p>(6) 「茨城県リサイクル建設資材評価認定制度」で認定されたリサイクル建設資材について、茨城県リサイクル建設資材率先利用指針により率先利用に努めるものとする。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(平成12年法律第100号)」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成29年2月7日閣議決定)」(以下「グリーン購入法基本方針」)により、県が定める「特定調達品目」の判断基準等を満たす環境物品等を選択するよう努めるものとする。</p> <p>(7) 上記の条件を満たすものが石岡市産材で確保できる場合には、その優先使用に努めるものとする。なお、石岡市産材とは、「石岡市内で生産されたもの、又は加工し製品化されたもの」とする。 ただし、木材については、県内の森林から合法的に産出された木材を使用することとし、「いばらき優良木材証明制度」に基づく証明書など、県産木材であることが確認できる資料を提出して監督員の承諾を受けることとする。</p>																												
	4 室内空気中の化学物質の濃度測定	<p>室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン(学校施設については、パラジクロロベンゼンについても対象とする。)の濃度を測定し、測定結果を監督員に報告すること。</p> <p>採取方法及び測定方法は、厚生労働省が示した室内空气中化学物質の標準的な方法とし、ホルムアルデヒドの測定方法は、ジニトロフェニルヒドラジン(DNPH)誘導体化固相吸着／溶媒抽出一高速液体クロマトグラフ法により、その他の揮発性有機化合物の測定方法は、固相吸着／溶媒抽出法とガスクロマトグラフ／質量分析法の組み合わせにより行い、パッシブ型採取機器により行うこと。</p> <p>測定対象室は、平成15年4月1日通知「官庁営繕部における平成15年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」に準じ、下表の数を標準とする。(指針値は、付記事項の6を参照)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>室の床面積 A(m<sup>2</sup>)</th> <th>A≤5</th> <th>50&lt;A≤00</th> <th>200&lt;A≤500</th> <th>500&lt;A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定箇所数</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <p>室内空気中の化学物質の濃度測定対象室箇所数表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>室名(測定対象室)</th> <th>床面積</th> <th>測定箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	室の床面積 A(m <sup>2</sup> )	A≤5	50<A≤00	200<A≤500	500<A	測定箇所数	1	2	3	4	室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数															
室の床面積 A(m <sup>2</sup> )	A≤5	50<A≤00	200<A≤500	500<A																										
測定箇所数	1	2	3	4																										
室名(測定対象室)	床面積	測定箇所数																												
	⑤ リサイクルの優先順位	(1)発生抑制の徹底 (2)再使用の徹底 (3)再資源化の徹底 (4)適正処分の徹底 (再資源化に係る作成書類は、付記事項の5を参照)																												
	⑥ 発生材の処理等	・発注者に引渡しを要するもの ※なし ・あり 処理方法( ) ・特別管理産業廃棄物 ※なし ・あり 処理方法( ) ・現場での再利用を図るもの ※なし ・あり 品目( )																												
	⑦ 下請負人通知書	建設工事請負契約書に基づく下請負人通知書を、市と請負契約を締結した日から原則として30日以内、その後の下請契約に係るものは、契約締結の日から10日以内に通知するものとする。																												

章	項目	特記事項				
1 一般共通事項	⑧ 技能士	(1.5.2)				
	工事項目	技能検定職種	技能検定作業			
	仮設工事	とび	・とび作業			
	鉄筋工事	鉄筋施工	・鉄筋組立て作業			
	コンクリート工事	型枠施工	・型枠工事作業			
		コンクリート圧送施工	・コンクリート圧送工事作業			
	鉄骨工事	鉄工	・構造物鉄工作業			
		とび	・とび作業			
	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	ブロック建築	・コンクリートブロック工事作業			
		A L C / パネル施工	・A L C / パネル工事作業			
	防水工事	防水施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルト防水工事作業</li> <li>・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業</li> <li>・合成ゴム系シート防水工事作業</li> <li>・塩化ビニル系シート防水工事作業</li> <li>・セメント系防水工事作業</li> <li>・シーリング防水工事作業</li> <li>・改質アスファルトシート・チ工法防水工事作業</li> <li>・F R P 防水工事作業</li> </ul>			
	石工事	石材施工	・石張り作業			
	タイル工事	タイル張り	・タイル張り作業			
	木工事	建築大工	・大工工事作業			
	屋根及びとい工事	建築板金	・内外装板金作業			
		かわらぶき	・かわらぶき作業			
	金属工事	内装仕上施工	・鋼製下地工事作業			
		建築板金	・内外装板金作業			
	左官工事	左官	・左官作業			
	建具工事	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業			
		ガラス工	・ガラス工事作業			
		自動ドア施工	・自動ドア施工作業			
	カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・金属製カーテンウォール工事作業			
		サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業			
		ガラス施工	・ガラス工事作業			
	塗装工事	塗装	・建築塗装作業			
	内装工事	内装仕上施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プラスチック系床仕上げ工事作業</li> <li>・カーペット系床仕上げ工事作業</li> <li>・木質系床仕上げ工事作業</li> <li>・ボード仕上げ工事作業</li> </ul>			
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・表装</li> </ul>			
	排水工事	配管	・建築配管作業			
	舗装工事	路面標示施工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶融ペイントハンドマーカー工事作業</li> <li>・加熱ペイントマシンマーカー工事作業</li> </ul>			
	植栽工事	造園	・造園工事作業			
	⑨ 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする。				
	10 設備工事との取合い	設備機器の位置取り合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。				

章	項目	特記事項																								
1 一般共通事項	⑪ 完成図等	※完成図 ※作成する ・作成しない 提出するもの ・原図 ・製本 部 ※CADデータ (JWW形式) サイズ ・A1 ・A2 ・A3 ※CD-R 完成図 (JWW形式), 完成写真 (JPEG形式) を収録したもの ・維持保全に関する資料 (部数 ※1部)																								
	⑫ 引渡物	※鍵は1カ所につき, 3個を1組とし, プラスティック札に室名を記入して提出する。 ※マスター鍵は, 1組3個とし, 木製及び金属製建具共通とする。 ※スチール製キーボックス																								
	⑬ 提出書類	<b>※写真</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>内容</th> <th>枚数</th> <th>部数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※</td> <td>工事写真</td> <td>適宜</td> <td>1</td> <td>電子納品</td> </tr> <tr> <td>※</td> <td>完成写真 (支払用: 内外観)</td> <td>各2枚以上</td> <td>1</td> <td>A4版</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>完成写真 (・データ共)</td> <td>適</td> <td>2</td> <td>アルバム(キャビネ)</td> </tr> </tbody> </table> <p>アルバムは黒表紙金文字入りでサイズはH320 X W300程度とする            完成写真 (アルバム) の撮影業者            ※監督員の承諾する撮影業者(ただし, 建築完成写真撮影実績のある業者とする)            - 規格品証明書 (原品証明書, 同等品試験証明書, 試験成績書等)            - ガス圧接作業員技量資格証明書 (写し)            - ガス圧接試験報告書            - コンクリート強度試験報告書            - 杭打結果報告書            - 溶接工技量証明書 (表・裏とも写し)            - 防水保証書 (9-1, 2, 3, 4は10年)            - コンクリート配合計画書            - 工事実績情報の登録内容確認書の写し            ※火災保険等に加入したことを証明できる書類            - 建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書の写し            ※施工体制台帳の写し            ※施工体系図の写し            - 産業廃棄物処理関係書類(産業廃棄物運搬委託契約書及び許可書の写し, 産業廃棄物処理委託契約書及び許可書の写し等)            - 産業廃棄物管理票 (マニュフェスト) の写し            - 内装材(下地を含む)にVOC材料を使用した場合は, 安全データシート (SDS) 及びホルムアルデヒド, トルエン, キシレン, エチルベンゼン, スチレン, 有機リン系の含有率のデータシート            - 室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定報告書            ※建設副産物実態調査に関するデータ保存CD及び出力調査票            ※その他 監督員が必要と認め, 指示した書類及び部数         </p>					適用	内容	枚数	部数	備考	※	工事写真	適宜	1	電子納品	※	完成写真 (支払用: 内外観)	各2枚以上	1	A4版	・	完成写真 (・データ共)	適	2	アルバム(キャビネ)
適用	内容	枚数	部数	備考																						
※	工事写真	適宜	1	電子納品																						
※	完成写真 (支払用: 内外観)	各2枚以上	1	A4版																						
・	完成写真 (・データ共)	適	2	アルバム(キャビネ)																						
	⑭ 埋蔵文化財	※文化財保護法に基づく周知の埋蔵文化財包蔵地内 - 掘削作業に際しては, 工事立会, 試掘確認調査等を要する。施工にあたっては, あらかじめ, 工事日程, 掘削範囲図及び掘削断面図等を作成の上, 監督員, 施設管理担当, 市教育委員会文化振興課担当と協議を行うこと。 - 掘削作業に際しては, 慎重に施工のこと。施工にあたり, 文化財その他の埋蔵物を発見した場合は, 直ちにその状況を監督員に報告すること。																								
	⑮ 設計図書の優先順位	(1) 質疑回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 標準仕様書及び改修標準仕様書																								

章	項目	特記事項																											
仮設工事	① 足場	(2.2.4) ・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。																											
	2 監督員事務所	※設ける 規模 : m <sup>2</sup> 程度 仕上げの程度 : 程度 備え付ける備品 : <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">・机 脚</td> <td style="width: 33%;">・椅子 脚</td> <td style="width: 33%;">・ロッカー 台</td> <td style="width: 33%;">・書棚 台</td> </tr> <tr> <td>・ホワイトボード</td> <td>・製図板</td> <td>・掛時計</td> <td>・寒暖計</td> </tr> <tr> <td>・ゴム長靴</td> <td>・雨合羽</td> <td>・保護帽</td> <td>・懐中電灯</td> </tr> <tr> <td>・安全帯</td> <td>・受託者加入電話の子機</td> <td></td> <td>・暖冷房機</td> </tr> <tr> <td>・消火器</td> <td>・湯沸器</td> <td>・掃除具</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他 (</td> <td></td> <td></td> <td>)</td> </tr> <tr> <td>・設けない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	・机 脚	・椅子 脚	・ロッカー 台	・書棚 台	・ホワイトボード	・製図板	・掛時計	・寒暖計	・ゴム長靴	・雨合羽	・保護帽	・懐中電灯	・安全帯	・受託者加入電話の子機		・暖冷房機	・消火器	・湯沸器	・掃除具		・その他 (			)	・設けない		
・机 脚	・椅子 脚	・ロッカー 台	・書棚 台																										
・ホワイトボード	・製図板	・掛時計	・寒暖計																										
・ゴム長靴	・雨合羽	・保護帽	・懐中電灯																										
・安全帯	・受託者加入電話の子機		・暖冷房機																										
・消火器	・湯沸器	・掃除具																											
・その他 (			)																										
・設けない																													
③ 工事用水	構内既存の施設 ・なし ※あり (・利用できる (無償) ※利用できない)																												
④ 工事用電力	構内既存の施設 ・なし ※あり (・利用できる (無償) ※利用できない)																												
⑤ 工事看板	※設置する (2.3.1) 設置の場所 (◎ 正門付近 ) 記載事項 (※工事番号 ※工事名称 ※発注者 ※設計者 ※監理者 ※工期 ※施工者) 大きさ (※H900mm×W1800mm程度 · · ·) ・設置しない																												



章	項目	特記事項						
3 土工事	3 建設汚泥	<p>※工事現場から 40km 範囲内に再資源化施設があるときは、原則として再資源化施設に搬出するものとする。</p> <p>なお、工事現場から 40km 以内に再資源化施設がない場合においては、焼却施設、脱水施設や乾燥施設に搬出し減量化を行うものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>処理方法</th><th>搬出先</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・再資源化設</td><td>施設名称 ( ) 施設住所 ( )</td></tr> <tr> <td>・他工事に搬出 (個別指定制度)</td><td>利用方法( ) 相手工事 名称 ( ) 住所 ( ) 相手工事受注者 名称 ( ) 住所 ( ) TEL ( ) 処理施設の設置箇所 ( ) 処理施設の処理能力等 ( )</td></tr> </tbody> </table> <p>搬出量 m<sup>3</sup> (地山換算数量)  片道運搬距離 km  搬出条件 (昼夜間の別、改良の度合等)</p> <p>他工事に搬出する場合、処理施設の設置、個別指定制度の指定を受ける手続きが必要となるため、事前に監督員と充分に協議し、環境部局等に関係法令の手続きを行う</p>	処理方法	搬出先	・再資源化設	施設名称 ( ) 施設住所 ( )	・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法( ) 相手工事 名称 ( ) 住所 ( ) 相手工事受注者 名称 ( ) 住所 ( ) TEL ( ) 処理施設の設置箇所 ( ) 処理施設の処理能力等 ( )
処理方法	搬出先							
・再資源化設	施設名称 ( ) 施設住所 ( )							
・他工事に搬出 (個別指定制度)	利用方法( ) 相手工事 名称 ( ) 住所 ( ) 相手工事受注者 名称 ( ) 住所 ( ) TEL ( ) 処理施設の設置箇所 ( ) 処理施設の処理能力等 ( )							
	4 山留の存置	存置範囲 (※図示) (3.3.3)						
	⑤ 整 地	跡地はブルドーザー等による整地を行う ◎駐車場、資材置き場等使用部は整地を行う						

章	項目	特記事項																																																		
4 地業工事	1 支持地盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杭基礎 (4.3.4) (4.3.5) (4.5.4) (4.5.5)</li> <li>支持地盤の位置及び種類（基礎杭の先端の位置含む）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による（）</li> </ul> </li> </ul> <p>◎直接基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支持地盤の位置及び種類（基礎底部の位置含む）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による（）</li> </ul> </li> <li>試験堀り（根切り底の状態の確認等） (3.2.1)</li> </ul> <p>◎行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> </ul> <p>位置等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による（）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地盤の載荷試験 (4.2.4)</li> <li>試験位置、方法等</li> <li>・図示による（）</li> </ul>																																																		
	2 液状化対策	<p>工法、施工範囲、仕様、計測、試験等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による（）</li> </ul>																																																		
	3 既製コンクリート杭 地業	<p>種類等 (4.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠心力高強度プレストレスコンクリート杭 (PHC 杭)</li> <li>・プレストレスト鉄筋コンクリート杭 (PRC 杭)</li> <li>・外殻鋼管付きコンクリート杭 (SC 杭)</li> </ul> <p>SC 杭の鋼管材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・SKK400</li> <li>・SKK490</li> </ul> <p>材料</p> <p>寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2) (4.3.2) (4.3.3)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>種類</th> <th>コンクリート強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>鋼管厚 (mm)</th> <th>杭径 (mm)</th> <th>杭長 (m)</th> <th>継手数</th> <th>セット数</th> <th>長期設計支持力 (kN/本)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>試験杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本杭</td> <td>上杭 中杭 下杭</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>杭先端部形状 (4.3.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開放形</li> <li>・半開放形</li> <li>・閉そく形</li> </ul>												種類	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考	試験杭	上杭 中杭 下杭									本杭	上杭 中杭 下杭																		
		種類	コンクリート強度 (N/mm <sup>2</sup> )	鋼管厚 (mm)	杭径 (mm)	杭長 (m)	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																										
試験杭	上杭 中杭 下杭																																																			
本杭	上杭 中杭 下杭																																																			

章	項目	特記事項						
4 地業工事	5 場所打ち コンクリート杭地業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリートの単位水量測定 ※6コンクリート工事「13 コンクリートの単位水量測定」による</li> <li>・</li> <li>試験杭 試験杭の位置           <ul style="list-style-type: none"> <li>・図示による( )</li> </ul> </li> <li>・孔壁測定 測定箇所           <ul style="list-style-type: none"> <li>・試験杭( )箇所及び本杭( )箇所</li> </ul> </li> <li>測定方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>・超音波測定器</li> </ul> </li> <li>杭の精度 水平方向の位置ずれ           <ul style="list-style-type: none"> <li>・100mm以下</li> </ul> </li> <li>杭の傾斜           <ul style="list-style-type: none"> <li>・1/100以内</li> <li>・評定等の内容による</li> </ul> </li> </ul>						
	⑥ 砂利地業	<p>材料(茨城県の指定工場であること) ※再生クラッシャラン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切込み砂利及び切込み碎石</li> </ul> <p>厚さ及び施工範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th><th>施工範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・60</td><td>・基礎下 　・基礎梁下 　・土間コンクリート下 　・土に接するスラブ下</td></tr> <tr> <td>◎100</td><td>◎基礎下</td></tr> </tbody> </table>	厚さ	施工範囲	・60	・基礎下 　・基礎梁下 　・土間コンクリート下 　・土に接するスラブ下	◎100	◎基礎下
厚さ	施工範囲							
・60	・基礎下 　・基礎梁下 　・土間コンクリート下 　・土に接するスラブ下							
◎100	◎基礎下							
	7 捨コンクリート地業	<p>厚さ及び施工範囲</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th><th>施工範囲</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・50</td><td>・基礎下 　・基礎梁下 　・土に接するスラブ下</td></tr> <tr> <td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>設計基準強度 ※<math>18N/mm^2</math></p> <p>スランプ ・15cm又は18cm</p>	厚さ	施工範囲	・50	・基礎下 　・基礎梁下 　・土に接するスラブ下	・	
厚さ	施工範囲							
・50	・基礎下 　・基礎梁下 　・土に接するスラブ下							
・								
	8 床下防湿層	<p>材料 ・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上</p> <p>施工範囲 ・図示による( )</p> <p>施工位置 ・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)</p>						
	9 地盤改良工法	<p>種類及び施工方法等 ・図示による( )</p> <p>六価クロム溶出試験 ・行う 　・行わない</p>						

章	項目	特記事項																	
鉄筋工事	① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎SD295A</td> <td>※D16 以下</td> <td>・ 基礎</td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※D19 以上</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			種類の記号	呼び径(mm)	備考	◎SD295A	※D16 以下	・ 基礎	・ SD345	※D19 以上	・	・			・		
	種類の記号	呼び径(mm)	備考																
	◎SD295A	※D16 以下	・ 基礎																
	・ SD345	※D19 以上	・																
	・																		
・																			
2 溶接金網	形状等 (5.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子							
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用部位																
・溶接金網																			
・鉄筋格子																			
③ 鉄筋の継手	繰手方法等 (5.3.4) (5.5.2) (5.5.3) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部位</th> <th>継手方法</th> <th>呼び径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・溶接継手</td> <td>・機械式継手 ※D19 以上</td> </tr> <tr> <td>・耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>◎基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td> <td>◎重ね継手</td> <td>・ガス圧接</td> </tr> <tr> <td>・上記以外( )</td> <td>・重ね継手</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>			部位	継手方法	呼び径(mm)	・柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ※D19 以上	・耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	◎基礎、耐圧スラブ、土圧壁	◎重ね継手	・ガス圧接	・上記以外( )	・重ね継手	・	
部位	継手方法	呼び径(mm)																	
・柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・溶接継手	・機械式継手 ※D19 以上																	
・耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・																	
◎基礎、耐圧スラブ、土圧壁	◎重ね継手	・ガス圧接																	
・上記以外( )	・重ね継手	・																	
	重ね継手の長さ (5.3.4) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(a))																		
	繰手位置 (5.3.4) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1, 6.1, 7.1, 7.3, 8.1) ・図示による ( )																		
	カットオフ鉄筋の長さ ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 5.1, 7.1) ・図示による ( )																		
	基礎梁主筋の継手位置 (5.3.4) ・図示による (構造関係共通図 (配筋標準図)) ・図 5.2   ・図 5.3   ・図 5.4 ・図示による ( )																		
4 鉄筋の定着長さ	鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 3(b))																		
⑤ 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ (目地底から算出を行う) (5.3.5) ※図示による (構造関係共通図 (配筋標準図) 表 4.1) - 柱及び梁の主筋に D29 以上の使用の有無 ・無し ・有り 適用箇所 ( ) 主筋のかぶり厚さを径の 1.5 倍以上確保する 耐久性上不利な部分 (塩害等を受けるおそれのある部分等) ・無し ・有り 適用箇所 ( ) - 最小かぶり厚さに加える厚さ ( ) mm																		

章	項目	特記事項	
5 鉄筋工事	⑤ 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)	鉄筋相互のあき（機械式継手及び溶接継手を除く） ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4(d)）  H12 建告第1463号に適合する性能 ・A級  機械式継手の工法（ ）  鉄筋相互のあき ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）  品質の確認方法 ・図示による（ ）  不良となった継手の修正方法等 ・図示による（ ）	(5.3.5)  (5.5.2)  (5.5.2)  (5.3.5)  (5.5.2)
6	機械式継手	使用箇所 ・図示による（ ）  H12 建告第1463号に適合する性能 ・A級  鉄筋相互のあき ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）4.1）  溶接継手の工法 ・図示による（ ） ・重ねアーク溶接  品質の確認方法 ・図示による（ ） ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による  不良となった継手の修正方法等 ・図示による（ ） ・標準仕様書1.2.2(b)施工計画書の品質計画による  溶接技術者 ・標準仕様書5.5.3(f)による ・JIS Z 3882（鉄筋の突合わせ溶接技術検定における試験方法及び判定基準）による 技量を有する者	(5.5.3)  (5.5.3)  (5.5.3)
7	溶接継手		

章	項目	特記事項
5 鉄筋工事	⑧ 各部配筋  各部配筋 ・図示による（構造関係共通図（配筋標準図）） ・  帯筋 組立の形の種別 ・構造関係共通図（配筋標準図）6.2(b)(3)（　　形）による ・図示による（　　）  壁開口部の補強 一般壁 ・構造関係共通図（配筋標準図）8.2(a)(1)（　　形）による ・図示による（　　） 耐力壁 ・図示による（　　）  梁貫通孔の補強 補強形式 ・構造関係共通図（配筋標準図）11.2（　　形）による ・図示による（　　） 梁貫通孔径（部材記号含む）及び配筋種別リスト ・図示による（　　）  柱主筋の柱頭定着 ・構造関係共通図（配筋標準図）6.1(a)(2) ・図示による（　　）	(5.3.7)
9	圧接完了後の試験  外観試験 ※行う（全数）  抜取試験 ※超音波探傷試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。 試験の箇所数：1ロットに対して30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。  ・引張試験 試験ロット：1組の作業班が1日に行った圧接箇所とする。なお、200箇所を超えるときは200箇所ごととする。 試験の箇所数：1ロットに対して（※3本・5本）とする。	(5.4.9) (5.4.9) (5.4.10)

章	項目	特記事項						
6 コンクリート工事	① コンクリートの種類及び強度	※普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)						
		設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スランプ (cm)	適用箇所			
		◎24	2.3程度	◎15又は18・18				
	② コンクリートの類別	類別 (6.2.1) ※I類(茨城県の指定工場であり、JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート) ・II類(JIS A 5308に適合したコンクリート)						
	③ セメント	(6.3.1)						
		種類	使用部位					
		※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種	※下記以外全て ・					
		・高炉セメントB種	・1FLより下部(立上がり部含む) ・					
		・フライアッシュセメントB種	・					
		普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする						
	④ 骨材	使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・B(コンクリート中のアルカリ総量Rt=3.0kg/m <sup>3</sup> 以下)						
	⑤ 混合材料	(6.3.1)						
		・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(i)による	・					
		・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(d)(ii)による	・					
6	無筋コンクリート	設計基準強度 ※18(N/mm <sup>2</sup> )	(6.2.1)(6.3.1)(6.14.1)					
		スランプ ※15cm又は18cm	(6.14.1)					
		セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種	(6.3.1)					
		適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(e)による箇所 ・図示による( )	(6.2.1)(6.14.1)					

章	項目	特記事項							
6 コンクリート工事	7 ひび割れ誘発目地、打継目地	目地寸法 (6. 6. 3) (6. 8. 2) (9. 7. 3) <ul style="list-style-type: none"> <li>標準仕様書 9. 7. 3による</li> <li>※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打ち増し厚さ部で処理する</li> </ul> 間隔・位置・形状 (6. 8. 2) <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul>							
	(8) コンクリートの仕上がり	合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6. 2. 5) (6. 8. 3) (表 6. 2. 4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎A 種</td><td>※図示による ( )</td></tr> <tr> <td>・B 種</td><td>※図示による ( )</td></tr> <tr> <td>・C 種</td><td>※図示による ( )</td></tr> </tbody> </table>	種別	適用箇所	◎A 種	※図示による ( )	・B 種	※図示による ( )	・C 種
種別	適用箇所								
◎A 種	※図示による ( )								
・B 種	※図示による ( )								
・C 種	※図示による ( )								
9 打増し厚さ (打放し仕上げ部) (6. 8. 2) <ul style="list-style-type: none"> <li>打放し仕上げの打増し厚さ (外部に面する部分に限る)           <ul style="list-style-type: none"> <li>20mm</li> </ul> </li> <li>打放し仕上げの打増し厚さ (内部に面する部分に限る)           <ul style="list-style-type: none"> <li>10mm</li> <li>20mm</li> </ul> </li> <li>外壁タイル後張り面の打増し処理           <ul style="list-style-type: none"> <li>20mm</li> </ul> </li> <li>床型枠用鋼製デッキプレートの梁側面部の打増し処理            プレートが支持される梁の側面について下記の打増しを行なう           <ul style="list-style-type: none"> <li>10mm</li> <li>20mm</li> </ul> </li> </ul> 打増し範囲 <ul style="list-style-type: none"> <li>図示による ( )</li> </ul>									
(10) 型枠	せき板の材料及び厚さ (6. 8. 3) <p>コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎合板 (※12mm)</li> <li>断熱材を兼用した型枠の使用 (6. 8. 3)</li> <li>MCR工法用シートの使用 (6. 8. 3)            打増し厚さ 20mm            打増し範囲 図示による ( )</li> <li>スリーブの材種・規格等 (6. 8. 3)            ※図示による ( )</li> <li>存置期間及び取り外し (6. 8. 5)            ※標準仕様書 6. 8. 5による</li> </ul>								
	11 コンクリートの養生方法								
	標準仕様書 第6章 第7節による								

章	項目	特記事項																					
7 鉄骨工事	<p>① 鉄骨製作工場</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.1) (7.1.3)            ※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」により評価を受け、国土交通大臣から認定を受けた工場、又は同等以上の能力のある工場</p> <p>評価の区分            ※ ( ) グレード ・適用しない            ・監督員の承諾する国土交通大臣から認定を受けた工場            ◎監督員の承諾する工場</p>																						
	2 施工管理技術者	<p>※適用する (7.1.3) (7.1.4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用しない</li> </ul>																					
	③ 鋼材	<p>材質等 (7.2.1) (表7.2.1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所(主要な部分)</th> <th>規格</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>SSC400</td> <td>外壁、屋根下地</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>有効細長比(圧縮材に限る)            ・図示による( )</p>	種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格	SSC400	外壁、屋根下地	※JIS規格による			・			※JIS規格による			・			※JIS規格による			・
種類の記号	適用箇所(主要な部分)	規格																					
SSC400	外壁、屋根下地	※JIS規格による																					
		・																					
		※JIS規格による																					
		・																					
		※JIS規格による																					
		・																					
	4 高力ボルト	<p>高力ボルトの区分 (7.2.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トルシア形高力ボルト</li> <li>セットの種類 ・2種(S10T)</li> <li>・</li> </ul> <p>・JIS形高力ボルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>セットの種類 ・2種(F10T)</li> <li>・</li> </ul> <p>高力ボルトの径 (7.2.2)</p> <p>※図示による( )</p> <p>ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.3.2)</p> <p>※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図)1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>すべり係数試験 (7.4.2)</p> <p>※行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行う</li> <li>試験方法等 ・図示による( )</li> <li>・</li> </ul>																					
	5 普通ボルト	<p>ボルト及びナットの材料 (7.2.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)による</li> <li>・標準仕様書 表7.2.3 (JIS附属書品)又はJIS本体規格品(ISO規格)による            (JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする)</li> </ul> <p>座金 (7.2.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準仕様書 7.2.3(d)による</li> </ul>																					

章	項目	特記事項
7 鉄骨工事	5 普通ボルト	<p>戻り止め ※二重ナット</p> <p>ボルトの径 ・図示による( )</p> <p>ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 ※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p>
	6 溶融亜鉛めっき 高力ボルト	<p>セットの種類 ・1種(F8T相当)</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトの径 ・図示による( )</p> <p>溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 ・大臣認定を受けた内容による</p> <p>ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 ※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p> <p>摩擦面の処理 ※ブラスト処理(表面粗度 <math>50 \mu\text{mRz}</math> 以上) ・ブラスト処理以外の特別な処理方法 ・図示による( ) すべり耐力等の確認方法 ※すべり係数試験 試験方法等 ・図示による( )</p>
⑦	アンカーボルト	<p>・構造用アンカーボルト ○本体鉄骨</p> <p>セットの種類(JIS B 1220) ABR400 ABR490 形状, 寸法 ・図示による( ) ○通しボルトとする</p> <p>・その他の鉄骨 種類 SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表 7.2.3 による</p> <p>形状, 寸法 ・図示による( )</p> <p>・建方用アンカーボルト 種類 SS400 アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度 ※標準仕様書 表 7.2.3 による</p> <p>形状, 寸法 ・図示による( )</p> <p>ボルトの縁端距離, ボルト間隔, ゲージ等 ※図示による(構造関係共通図(鉄骨標準図) 1-1 縁端距離及びボルト間隔)</p>

章	項目	特記事項																								
鉄骨工事	⑧ 溶接材料	溶接材料	(7.2.5)																							
		・標準仕様書 7.2.5(a) (b)による ・標準仕様書 7.2.5(a) (b)以外の溶接材料 材料及び使用箇所      ・図示による( )																								
	9 ターンバックル	種類	(7.2.6)																							
		建築用ターンバックル胴 ※割株式																								
		建築用ターンバックルボルト ※羽子板ボルト																								
	10 デッキプレート	ねじの呼び	(7.2.6)																							
		・図示による( )																								
	11 スタッド	材質、形状及び寸法	(6.8.3) (7.2.7)																							
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>適用箇所</th><th>材質・形状・寸法</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・デッキプレート単独の構法</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>◎床型枠用</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>		適用箇所	材質・形状・寸法	備考	・デッキプレート単独の構法				・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法				◎床型枠用											
	適用箇所	材質・形状・寸法	備考																							
・デッキプレート単独の構法																										
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法																										
◎床型枠用																										
開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む) ・図示による( )																										
鉄骨部材への溶接方法 ・図示による( )	(7.7.8)																									
耐火認定 ・有り 耐火時間      ・図示による( ) ・無し																										
材質、形状及び寸法 ※頭付きスタッド (JIS B 1198) 種類等																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>呼び名</th><th>呼び長さ (mm)</th><th>適用箇所</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・16φ</td><td>・80    100    120</td><td></td></tr> <tr> <td>・19φ</td><td>・80    100    130    150</td><td></td></tr> <tr> <td>・22φ</td><td>・80    100    130    150</td><td></td></tr> </tbody> </table>	呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所	・16φ	・80    100    120		・19φ	・80    100    130    150		・22φ	・80    100    130    150															
呼び名	呼び長さ (mm)	適用箇所																								
・16φ	・80    100    120																									
・19φ	・80    100    130    150																									
・22φ	・80    100    130    150																									
モルタルの種別 ※無収縮モルタル 無収縮モルタルの材料、調合等 ※標準仕様書 7.2.9(b) (1)から(4)による  ・標準仕様書 7.2.9(a)によるモルタル	(7.2.9)																									
12 柱底均しモルタル	※標準仕様書 7.3.3 及び H12 建告第 1464 号第二号イによる H12 建告第 1464 号第二号イ(1) (2)のただし書きによる補強は、「突合させ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による	(7.3.3)																								
13 製作精度	※標準仕様書 7.3.3 及び H12 建告第 1464 号第二号イによる H12 建告第 1464 号第二号イ(1) (2)のただし書きによる補強は、「突合させ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による																									

章	項目	特記事項																																				
7 鉄骨工事	⑯ 鋸止め塗装	塗料の種別 ◎鉄鋼面の鋸止め塗料 屋外 ※標準仕様書 表 18.3.1 A 種		(7.8.3)																																		
		屋内 ※標準仕様書 表 18.3.1 ( ) 種																																				
		・亜鉛めっき鋼面の鋸止め塗料 ・標準仕様書 表 18.3.2 ( ) 種																																				
		・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る） ※標準仕様書 表 18.3.1 A 種																																				
		・塗装を行う耐火被覆材の接着する面 適用箇所 ・図示による ( ) 塗料の種別 ・標準仕様書 表 18.3.1 ( ) 種 ・標準仕様書 表 18.3.2 ( ) 種																																				
	20 耐火被覆	種類及び性能 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>材料・工法</th><th>性能(耐火時間)</th><th>適用箇所(部位・部分)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">・耐火材 吹付け</td><td>・乾式吹付け ロックウール</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・半乾式吹付け ロックウール</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・湿式ロック ウール</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火板 張り</td><td>・纖維混入けい酸 カルシウム板</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td rowspan="2">・耐火材 巻付け</td><td>・高耐熱ロック ウール</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ラス張り モルタル 塗り</td><td>—</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)	・耐火材 吹付け	・乾式吹付け ロックウール			・半乾式吹付け ロックウール			・湿式ロック ウール			・			・耐火板 張り	・纖維混入けい酸 カルシウム板			・			・耐火材 巻付け	・高耐熱ロック ウール			・			・ラス張り モルタル 塗り	—			(7.9.2~7.9.7)
種類	材料・工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)																																			
・耐火材 吹付け	・乾式吹付け ロックウール																																					
	・半乾式吹付け ロックウール																																					
	・湿式ロック ウール																																					
	・																																					
・耐火板 張り	・纖維混入けい酸 カルシウム板																																					
	・																																					
・耐火材 巻付け	・高耐熱ロック ウール																																					
	・																																					
・ラス張り モルタル 塗り	—																																					
		材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする																																				
	⑰ 建方精度	※JASS 6 付則6 [鉄骨精度基準] 付表5 [工事現場] による		(7.10.2)																																		

章	項目	特記事項										
7 鉄骨工事	22 アンカーボルト等の設置	<p>アンカーフレームの形状及び寸法 構造用アンカーボルト（本体鉄骨） ・図示による（ ）</p> <p>アンカーボルトの保持及び埋込み工法（標準仕様書 表 7.10.1） 構造用アンカーボルト（その他の鉄骨） 種別 ・A種 ・B種 ・C種 建方用アンカーボルト 種別 ・A種 ・B種 ・C種</p> <p>柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 構造用アンカーボルト 本体鉄骨 ・A種 [厚さ 50mm] ・B種 [厚さ 30mm] ※図示による（ ） その他鉄骨 ・A種 [厚さ 50mm] ※B種 [厚さ 30mm] ・図示による（ ） 建方用アンカーボルト ・A種 [厚さ 50mm] ※B種 [厚さ 30mm] ・図示による（ ）</p>										
	②③ 溶融亜鉛めっき	<p>種別等  <table border="1"> <thead> <tr> <th>亜鉛めっきの種別</th> <th>材料</th> <th>適用部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A種</td> <td>最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板</td> <td rowspan="3">※図示 ・</td> </tr> <tr> <td>B種</td> <td>最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> <tr> <td>C種</td> <td>普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板</td> </tr> </tbody> </table> </p> <p>外観検査 ※行う ※標準仕様書 表 14.2.3 による ・行わない</p>	亜鉛めっきの種別	材料	適用部	A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※図示 ・	B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板
亜鉛めっきの種別	材料	適用部										
A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	※図示 ・										
B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板											
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 2.3mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板											
	24 梁貫通孔の補強	<p>補強形式 ※図示による（構造関係共通図（鉄骨標準図）1-7） ・</p> <p>適用箇所 ※図示による（ ）</p>										

章	項目	特記事項									
9 防水工事	4 塗膜防水	(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)									
防水層の種別											
種別	施工箇所	仕上塗料		保護層	高日射反射率 防水の適用						
種類	使用量										
・X-1		・製造所の指定による	・製造所の指定による								
・X-2		・製造所の指定による	・製造所の指定による								
・Y-1	※地下外壁防水 ・										
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない							
5 ケイ酸質系塗布防水											
防水層の種別											
種別	施工箇所	種別	施工箇所								
※C-UI		・C-UP									
6 脱気装置											
(9.2.3) (9.3.3) (9.5.3)											
種別	種類	設置数量									
D-1 D-2 D-3 D-4 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1	※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による ・	※アスファルトルーフィング類製造所の仕様による ・個／m <sup>2</sup>									
X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・個／m <sup>2</sup>									
⑦ シーリング											
(9.7.2) (9.7.3) (表9.7.1)											
下記以外は、標準仕様書 表9.7.1による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による											
施工箇所	シーリング材の種類（記号）										
シーリング材の目地寸法 ※標準仕様書9.7.3(a)(1)～(3)による											

章	項目	特記事項							
13 屋根及びとい工事	1 長尺金属板葺	(13.2.2) (13.2.3)							
		施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式			
			※JIS G 3322 の屋根用コイル			・心木なし瓦棒葺 ・立平葺・蟻掛葺 ・横葺・			
		<p>下葺材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アスファルトルーフィング 940</li> <li>・改質アスファルトルーフィング下葺材</li> <li>(・一般タイ<sup>°</sup> · 複層材タイ<sup>°</sup> · 粘着層付タイ<sup>°</sup>)</li> </ul> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( · 1 · 1.15 · 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>雪止め</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置する (施工箇所 · 図示 · )</li> </ul>							
	② 折板葺	(13.2.2) (13.3.2) (13.3.3) (表 13.2.1)							
		施工箇所	形式	山高, 山比 <sup>°</sup> チによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
				山高 山比 <sup>°</sup> チ					
		屋根	◎重ね形 ・はせ縫め形 ・かん合形	150 250	( )種	※鋼板製 ◎アルミニウム合金板製	0.6	◎有り ・無し	・30 分 ◎無し
		<p>材料</p> <p>板及びコイルの種類 ( ガルバニウム鋼板 )</p> <p>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( )</p> <p>断熱材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎有り (種別: 発泡ポリエチレンフォーム)</li> </ul> <p>厚さ(mm) : 4</p> <p>防火性能 : 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無し</li> </ul> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( · 1 · 1.15 · 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p>							
	3 粘土瓦葺	(13.4.2) (13.4.3)							
		施工箇所	種類		大きさ	産地	役物瓦の種類	雪止め瓦	
			製法による区分	形状による区分	寸法による区分				
								・適用する ・適用しない	
								・適用する ・適用しない	
		<p>瓦棟木 材質 ※杉又はひのき ·</p> <p>寸法 ※幅 21 × 高さ 15 (mm) ·</p> <p>棟補強用心材 材質 ※杉又はひのき ·</p> <p>寸法 ※幅 40 × 高さ 30 (mm) ·</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( · 1 · 1.15 · 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>瓦棟木の留付け工法 ※図示 ·</p> <p>棟の工法 ※標準仕様書 13.4.3(d) (1) ~ (4) による ·</p>							

章	項目	特記事項								
13 屋根及びとい工事	④ とい	<p>(13.5.2) (13.5.3) (表 13.5.5)</p> <p>といの材種 ※配管用鋼管 ◎硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>鋼管製といの防露巻き</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適用する (工法 : ※標準仕様書 表 13.5.5 による )</li> <li>・適用しない</li> </ul> <p>ルーフドレン</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ろく屋根用 (・縦型　・横型)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	施工箇所	・ろく屋根用 (・縦型　・横型)		・バルコニー用		・バルコニー中継用	
種別	施工箇所									
・ろく屋根用 (・縦型　・横型)										
・バルコニー用										
・バルコニー中継用										

章	項目	特記事項		
14 金属工事	① ステンレスの表面仕上げ	(14.2.1)		
		種類	施工箇所(手すり、タラップ、建具以外)	
		※HL程度	ワゴン当り	
		・鏡面仕上げ程度		
		・No.2B程度		
	2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	(14.2.2) (表14.2.1)		
		種別	皮膜又は複合皮膜の種類	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)
		・A-1種	※AA15	・
		・A-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA15	・
		・B-1種	※B	・
		・B-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※B	・
		・C-1種	※AA6	・
		・C-2種(・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー)	※AA6	・
		・D種		
		・		
		陽極酸化皮膜の着色方法 ※二次電解着色 ・三次電解着色		
	③ 鉄鋼の亜鉛めっき	(14.2.3) (表14.2.2)		
		表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
		溶融亜鉛めっき	・A種	
			・B種	
			・C種	
		電気亜鉛めっき	・D種	
			・E種	
			・F種	
	④ 軽量鉄骨天井下地	(14.4.2~14.4.4) (表14.4.1)		
		野縁等の種類 屋外(※25形・19形)　屋内(※19形・25形)		
		・屋外の軒天井、ピロティ天井等		
		工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法		
		野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔　・図示		
		周辺部の端からの間隔　・図示		
		野縁の間隔　・図示		
		・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法　・図示		
		・天井のふとろが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法　※標準仕様書14.4.4(h)(1)~(2)による　・図示		
		・天井のふとろが3.0mを超える場合 補強方法　※図示		
		・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所　・図示		
		補強方法　※図示		

章	項目	特記事項											
14 金属工事	⑤ 軽量鉄骨壁下地	(14.5.3) (表 14.5.1)											
		スタッド、ランナーの種類 ※標準仕様書 表 14.5.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示 スタッドの高さが 5.0m を超える場合 ※図示 -											
	⑥ 金属成形板張り	(14.6.2) (14.6.3) (表 14.2.1)											
		種別	製法	形状	板幅 (mm)	寸法 (mm)	厚さ (mm)	表面処理					
		・押出し ・ロール ※プレス ・ ・刈込	・	パンドル形				・B-1種					
			・	パネル形				・B-2種(・アンバー ・ブロンズ・ブラック 系・ステンカラー)					
			・					・C-1種					
			・					・C-2種(・アンバー ・ブロンズ・ブラック 系・ステンカラー)					
		◎ガル バニウ ム鋼板	プレス		4000	0,4		・D種					
		取付け用下地 ◎標準仕様書 14.4 による ◎図示 伸縮調整継手 ・設ける(施工箇所 ・図示 ・ ) ・設けない											
	⑦ アルミニウム製笠木	(14.7.2) (14.7.3) (表 14.2.1) (表 14.7.1)											
		種類 ・250形 ・300形 ・350形 ◎175 表面処理 種別( )種 皮膜等の種類(※標準仕様書 表 14.2.1 による ) 着色(・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ◎ステンカラー) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法											
	8 手すり及びタラップ	(14.8.2) (14.8.3)											
		手すり ・ステンレス製 SUS304(表面処理 ※HL程度 ・No.2B程度 ・ ) ・鋼製 (表面処理 ・溶融亜鉛めっき C種 ・ ) タラップ ・ステンレス製 SUS304(表面処理 ※研磨なし ・ ) ・鋼製 (表面処理 ※溶融亜鉛めっき C種 ・ )											

章	項目	特記事項							
15 左官工事	① モルタル塗り	(15.2.2) (15.2.5)							
		既製目地材	・設ける	施工箇所 ( )	形状 (※図示 · )				
			・設けない						
		床の目地	◎設ける	(工法※押し目地 · )					
			・設けない						
		外装タイル張り下地の下地モルタルの接着力試験		・適用する					
				・適用しない					
		防水剤 (防水モルタル塗りの混入剤)							
		防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 (JIS A 1404 による試験)							
		混合割合	凝結時間	曲げ及び 圧縮強度比	吸水比	透水比			
		セメント重量の 5%以内	JIS R 5201 の試験 8 において 始発 1 時間以上 終結 10 時間以内	70%以上	95%以下	80%以下 294.0 kPa/h			
	2 床コンクリートの 直均し仕上げ	(6.2.5) (15.3.2)							
		下表以外は標準仕様書 15.3.2 による							
		施工箇所	平たんさ (mm)	備考					
		・フリー・アクセスフロア (支柱調整式) 範囲	・1m につき 10 以下						
		・	・						
	3 セルフレベリング材 塗り	(15.4.2) (表 15.4.1)							
		・せっこう系							
		・セメント系							

章	項目	特記事項												
建 具 工 事	1 防火戸	(16.1.3) ※建具表による ·												
	2 見本の製作等	(16.1.4) 建具見本の製作 · 行う (建具符号 : ) · 行わない 建具見本の程度 · 工事に使用するものとして、あらかじめ製作する · 納まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 · 行う (建具符号 : ) · 行わない												
	3 防犯建物部品	(16.1.6) · 適用する (※建具表による · ) · 適用しない												
	④ アルミニウム製建具	(16.2.2) (16.2.4) (16.2.5) (表 16.2.1) 性能等級 外部に面する建具 · A種 (建具符号 : ※建具表による · ) · B種 (建具符号 : ※建具表による · ) · C種 (建具符号 : ※建具表による · ) 防音ドアセッテ, 防音サッシ · 適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : · 建具表による · ) · 適用しない 断熱ドアセッテ, 断熱サッシ · 適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : · 建具表による · ) · 適用しない 耐震ドアセッテ · 適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : · 建具表による · ) · 適用しない 枠の見込み寸法 · 建具表による · 表面処理 外部に面する建具 · B-1種 · B-2種 · 皮膜等の種類 (※標準仕様書 表 14.2.1 による · ) 着色 ( · アンバー · ブロンズ · ブラック系 · ステンカラー ) 屋内の建具 · C-1種 · C-2種 · 皮膜等の種類 (※標準仕様書 表 14.2.1 による · ) 着色 ( · アンバー · ブロンズ · ブラック系 · ステンカラー ) 結露水の処理方法 ※図示 · 水切り板, せん板 ※図示 ·												
	5 網戸等	(16.2.3)												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 · ガラス繊維入り合成樹脂製 · ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm 以上 ·</td> <td>※16~18 メッシュ ·</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法 15mm</td> </tr> </tbody> </table>		種類	材種	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 · ガラス繊維入り合成樹脂製 · ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm 以上 ·	※16~18 メッシュ ·	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm
種類	材種	線径	網目											
・防虫網	※合成樹脂製 · ガラス繊維入り合成樹脂製 · ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm 以上 ·	※16~18 メッシュ ·											
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm											
6 樹脂製建具	(16.2.5) (16.3.2~16.3.5)													
	性能等級 外部に面する建具 · A種 (建具符号 : ※建具表による · ) · B種 (建具符号 : ※建具表による · ) · C種 (建具符号 : ※建具表による · ) 防音ドアセッテ, 防音サッシ · 適用する 遮音性の等級 ( · T-1 · T-2 ) (建具符号 : · 建具表による · ) · 適用しない													

章	項目	特記事項		
16 建 具 工 事	6 樹脂製建具	断熱ドアセット, 断熱サッシ 耐震ドアセット 枠の見込み寸法 表面色 ※標準色 水切り板, せん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス	・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・建具表による ・ ・特注色 ・ ・	・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・建具表による ・ ・特注色 ・ ・
	⑦ 鋼製建具	性能等級 簡易気密型ドアセット 外部に面する建具の耐風圧性 防音ドアセット, 防音サッシ 断熱ドアセット, 断熱サッシ 耐震ドアセット	・適用する (建具符号 : ※建具表による ・適用しない ・S-4 (建具符号 : ※建具表による ・S-5 (建具符号 : ※建具表による ・S-6 (建具符号 : ※建具表による ・ ・適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない	(16. 2. 2) (16. 4. 2~16. 4. 4) (表 16. 4. 2)
		鋼板	材料 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	めっき付着量 ※Z12 又はF12 ・ ※Y08 ・
	8 鋼製軽量建具	性能等級 簡易気密型ドアセット 防音ドアセット, 防音サッシ 断熱ドアセット, 断熱サッシ 耐震ドアセット	・適用する (建具符号 : ※建具表による ・適用しない ・適用する 遮音性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 断熱性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない ・適用する 面内変形追随性の等級 ( ) (建具符号 : ・建具表による ・ ) ・適用しない	(16. 2. 2) (16. 5. 2~16. 5. 4)
		鋼板 ※亜鉛めっき鋼板 鋼板の厚さ 召合せ, 縦小口包み板の材質	・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 ・ ・標準仕様書 表 16. 5. 1 による ・ ・	・標準仕様書 表 16. 4. 2 による ・

章	項目	特記事項																	
16 建 真 工 事	10 木製建具	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふすま 張りの種別 (・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (素地) ・生地縁 (ウレタンクリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による</li> <li>・戸ぶすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</li> <li>・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による</li> <li>・枠及びくつずりの材料 ・建具表による</li> </ul>																	
	⑪ 建具用金物	<p>(16.8.2) (16.8.3) (表 16.8.1)</p> <p>金物の種類及び見え掛け部の材質等 ※標準仕様書 表 16.8.1 及び適用は建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番 ※標準仕様書 表 16.8.3 による</p> <p>握り玉, レバーハンドル, 押板類, クレセントの取付け位置 ・建具表による ◎H=1000</p> <p>◎錠前類 【シリンドラ箱錠及びシリンドラ本締り錠】 (品質) デッドボルトの出寸法は 17mm 以上とする。鍵付きのものはマスターキー, グラン ドマスターキー, コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものと する。</p> <p>・錠前類 【レバーハンドル】</p> <p>・クローザ類</p>																	
	⑫ 鍵	<p>(16.8.4)</p> <p>マスターキー ※製作する ・製作しない その他の鍵 ※各室 3 本 1 組 ・ 鍵箱 ※有 ・無 ◎既存建物のマスターキーに組み込む</p>																	
	13 自動ドア開閉機構	<p>(16.9.2) (16.9.3) (表 16.9.1) (表 16.9.2)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2</td> <td>※標準仕様書 表 16.9.1 による</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           ④ ・適用する ・適用しない         </td> <td>           ④            - マットスイッチ            - 光線 (反射) スイッチ            - 熱線スイッチ            - 音波スイッチ            - 光電スイッチ            - 電波スイッチ            - タッチスイッチ            - 押しボタンスイッチ            - ペダルスイッチ            - 多機能トイレスイッチ         </td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">           ④            - 行う (適用箇所 は建具表 による)            - 行わない         </td> </tr> <tr> <td>・SWD-1 ・SWD-2</td> <td>※標準仕様書 表 16.9.2 による</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図示</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書 表 16.9.1 による	④ ・適用する ・適用しない	④ - マットスイッチ - 光線 (反射) スイッチ - 熱線スイッチ - 音波スイッチ - 光電スイッチ - 電波スイッチ - タッチスイッチ - 押しボタンスイッチ - ペダルスイッチ - 多機能トイレスイッチ	④ - 行う (適用箇所 は建具表 による) - 行わない	・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書 表 16.9.2 による		・図示	・		
自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止															
・SSLD-1 ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2	※標準仕様書 表 16.9.1 による	④ ・適用する ・適用しない	④ - マットスイッチ - 光線 (反射) スイッチ - 熱線スイッチ - 音波スイッチ - 光電スイッチ - 電波スイッチ - タッチスイッチ - 押しボタンスイッチ - ペダルスイッチ - 多機能トイレスイッチ	④ - 行う (適用箇所 は建具表 による) - 行わない															
・SWD-1 ・SWD-2	※標準仕様書 表 16.9.2 による																		
・図示	・																		
	14 自閉式上吊り 引戸装置	性能	※ 標準仕様書 表 16.10.1 による	(16.10.3)															

章	項目	特記事項													
16 建 真 工 事	15 重量シャッター	(16. 11. 2) (16. 11. 3)													
		シャッターの種類	耐風圧強度												
		・管理用シャッター	耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>												
		・外壁用防火シャッター	耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>												
		・屋内用防火シャッター													
		・屋内用防煙シャッター													
		開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） 管理用シャッターのシャッターケース ※設ける スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・ JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板) ・ JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっきの付着量 ※Z12 又はF12													
	⑯ 軽量シャッター	(16. 12. 2～16. 12. 4)													
		開閉形式 ※手動式	・上部電動式（手動併用）												
		耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup>													
		スラットの材質 ※JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06 又はF06) ・ JIS G 3322 (塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90)													
		スラットの形状	・インターロッキング形												
			・オーバーラッピング形												
	17 オーバーヘッドドア	(16. 13. 2) (16. 13. 3)													
		セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガードレールの材質									
		※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※パラレル式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローベッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板									
	⑯ ガラス	(16. 14. 2～16. 14. 4) (表 16. 14. 1)													
		適用は以下によるほか、ガラスの種類・厚さは建具表及び図面による。													
		・合わせガラス <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品種</th> <th style="text-align: center;">構成種類</th> <th style="text-align: center;">性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類 ・III類</td> </tr> </tbody> </table>					品種	構成種類	性能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類
品種	構成種類	性能													
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス ・熱線吸収、フロート板合わせガラス	・I類													
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き、フロート板合わせガラス ・網入磨き、熱線吸収板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類 ・III類													
		・強化ガラス <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">材料板ガラスによる種類</th> <th style="text-align: center;">種類</th> <th style="text-align: center;">性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス</td> <td>・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					材料板ガラスによる種類	種類	性能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類	・型板ガラス	・型板強化ガラス	
材料板ガラスによる種類	種類	性能													
・フロートガラス	・フロート強化ガラス ・熱線吸収強化ガラス	・I類 ・III類													
・型板ガラス	・型板強化ガラス														
		・熱線吸収板ガラス <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">品種</th> <th style="text-align: center;">性能</th> <th style="text-align: center;">色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td>・2種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					品種	性能	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種	
品種	性能	色調													
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ													
・熱線吸収網入磨き板ガラス	・2種														



章	項目	特記事項																																																																					
18 塗装工事	① 材料	屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 : )																																																																					
	② 素地ごしらえ	下地面等 <table border="1"> <tr> <td>木部</td> <td>不透明塗料塗りの場合</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>透明塗りの場合</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td></td> <td>※C種・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td></td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及びプラスター面</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・A種・B種</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>目地:継目処理工法</td> <td>※A種・B種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目地:継目処理工法以外</td> <td>※B種・A種</td> </tr> </table>			木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種		透明塗りの場合	※B種・A種	鉄鋼面		※C種・A種・B種	亜鉛めっき鋼面		・A種・B種	モルタル面及びプラスター面		※B種・A種	コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		※B種・A種	押出成形セメント板面		・A種・B種	せっこうボード面及びその他ボード面	目地:継目処理工法	※A種・B種		目地:継目処理工法以外	※B種・A種																																								
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種・B種																																																																					
	透明塗りの場合	※B種・A種																																																																					
鉄鋼面		※C種・A種・B種																																																																					
亜鉛めっき鋼面		・A種・B種																																																																					
モルタル面及びプラスター面		※B種・A種																																																																					
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		※B種・A種																																																																					
押出成形セメント板面		・A種・B種																																																																					
せっこうボード面及びその他ボード面	目地:継目処理工法	※A種・B種																																																																					
	目地:継目処理工法以外	※B種・A種																																																																					
③ 鑄止め塗料塗り	下地面等 <table border="1"> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>見え掛け部分</td> <td>※A種・B種</td> <td rowspan="2">・A種・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>見え隠れ部分</td> <td>※B種・A種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>鋼製建具</td> <td>※A種・B種</td> <td>・A種・B種 ・C種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鋼製建具以外</td> <td>※B種・A種</td> <td></td> </tr> </table>			鉄鋼面	見え掛け部分	※A種・B種	・A種・B種 ・C種		見え隠れ部分	※B種・A種	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種・B種	・A種・B種 ・C種		鋼製建具以外	※B種・A種																																																						
鉄鋼面	見え掛け部分	※A種・B種	・A種・B種 ・C種																																																																				
	見え隠れ部分	※B種・A種																																																																					
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具	※A種・B種	・A種・B種 ・C種																																																																				
	鋼製建具以外	※B種・A種																																																																					
④ 塗装	下地面等 <table border="1"> <tr> <td>・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※A種・B種</td> <td>※1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木部屋内</td> <td>※B種・A種</td> <td>※1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種・A種</td> <td>※1種・2種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>※1種・2種</td> </tr> <tr> <td>・クリヤラッカ一塗り(CL)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非分散形塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面</td> <td>-</td> <td>上塗り等級( )級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>亜鉛めっき鋼面</td> <td>-</td> <td>上塗り等級( )級</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・A種・B種 ・C種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等</td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエナメル塗り(LE)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種・A種</td> <td>-</td> </tr> </table>			・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種・B種	※1種・2種		木部屋内	※B種・A種	※1種・2種		鉄鋼面	※B種・A種	※1種・2種		亜鉛めっき鋼面	-	※1種・2種	・クリヤラッカ一塗り(CL)		※B種・A種	-	・アクリル樹脂系非分散形塗料塗り(NAD)		※B種・A種	-	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	-	上塗り等級( )級		亜鉛めっき鋼面	-	上塗り等級( )級		コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種・B種 ・C種	-	・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	※B種・A種	-		屋内の鉄鋼面	※B種・A種	-	◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種・A種	-	・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種・A種	-	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種・A種	-	・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種・A種	-	・オイルステイン塗り(OS)		-	-	・木材保護塗料塗り(WP)		※B種・A種	-
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※A種・B種	※1種・2種																																																																				
	木部屋内	※B種・A種	※1種・2種																																																																				
	鉄鋼面	※B種・A種	※1種・2種																																																																				
	亜鉛めっき鋼面	-	※1種・2種																																																																				
・クリヤラッカ一塗り(CL)		※B種・A種	-																																																																				
・アクリル樹脂系非分散形塗料塗り(NAD)		※B種・A種	-																																																																				
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	-	上塗り等級( )級																																																																				
	亜鉛めっき鋼面	-	上塗り等級( )級																																																																				
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・A種・B種 ・C種	-																																																																				
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面等	※B種・A種	-																																																																				
	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	-																																																																				
◎合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※B種・A種	-																																																																				
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※B種・A種	-																																																																				
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種・A種	-																																																																				
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種・A種	-																																																																				
・オイルステイン塗り(OS)		-	-																																																																				
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種・A種	-																																																																				
	高日射反射率塗料の適用 適用する 適用箇所 ※屋上、屋根面の金属面																																																																						
	適用しない -																																																																						

章	項目	特記事項																															
内装工事	① 接着剤	(19.2.2)																															
		接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする。 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別 ・図示																															
	2 ビニル床シート	(19.2.2) (19.2.3)																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th><th>JIS 記号</th><th>施工箇所</th><th>色柄</th><th>特殊機能</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・発泡層のないもの</td><td>※FS(複層ビニル床シート)</td><td></td><td>・無地 ・マーブル柄</td><td>・帯電防止 ・耐動荷重性</td><td>※2.0</td><td></td></tr> <tr> <td>・発泡層のあるもの</td><td>・</td><td></td><td>・無地 ・柄物</td><td>・防滑性 ・耐薬品性</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>					種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0		・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性								
種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																											
・発泡層のないもの	※FS(複層ビニル床シート)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0																												
・発泡層のあるもの	・		・無地 ・柄物	・防滑性 ・耐薬品性																													
	工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所：）																																
	特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上～3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度																																
3 ビニル床タイル	(19.2.2)																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>JIS 記号</th><th>施工箇所</th><th>色柄</th><th>寸法 (mm)</th><th>特殊機能</th><th>厚さ (mm)</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・FT (複層ビニル床タイル)</td><td></td><td>・無地 ・柄物</td><td>・300×300 ・450×450</td><td>・帯電防止 ・防滑性</td><td>※2.0 ・2.5 ・3.0</td><td></td></tr> <tr> <td>・KT (コンポジションビニル床タイル)</td><td></td><td>・無地 ・柄物</td><td>・300×300 ・450×450</td><td>・帯電防止 ・防滑性</td><td>・2.0 ・3.0</td><td></td></tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床タイル)</td><td></td><td>・無地 ・柄物</td><td>・500×500</td><td>・帯電防止 ・防滑性</td><td>・</td><td></td></tr> </tbody> </table>					JIS 記号	施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・FT (複層ビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・2.5 ・3.0		・KT (コンポジションビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0		・FOA (置敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・
JIS 記号	施工箇所	色柄	寸法 (mm)	特殊機能	厚さ (mm)	備考																											
・FT (複層ビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	※2.0 ・2.5 ・3.0																												
・KT (コンポジションビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防滑性	・2.0 ・3.0																												
・FOA (置敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防滑性	・																												
4 ビニル幅木	特殊機能 帯電防止 ・帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2 以上～3.2 未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^{10} \Omega$ 程度																																
		(19.2.2)																															
		材質 ・軟質 高さ (mm) ※60 厚さ (mm) ※1.5 以上																															
5 ゴム床タイル	(19.2.2)																																
		色柄 ( 厚さ (mm) ・3.0 寸法 (mm) ( )																															
6 カーペット敷き	・織じゅうたん (19.3.3) (19.3.4) (表 19.3.1)																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th><th>パイル形状</th><th>織り方</th><th>色柄等</th><th>帯電性</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td><td>・カットパイル</td><td>・ウイルトンカーペット</td><td>・無地</td><td>・適用する (性能：※人体帶電圧 3kv 以下 ・)</td><td></td></tr> <tr> <td>・B種</td><td>・ループパイル</td><td>・ダブルフェースカーペット</td><td>・柄物 (標準品)</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・C種</td><td>・カット、ループ併用</td><td>・アキミンスター</td><td>・</td><td>・適用しない</td><td></td></tr> </tbody> </table>					種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考	・A種	・カットパイル	・ウイルトンカーペット	・無地	・適用する (性能：※人体帶電圧 3kv 以下 ・)		・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)			・C種	・カット、ループ併用	・アキミンスター	・	・適用しない				
種別	パイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考																												
・A種	・カットパイル	・ウイルトンカーペット	・無地	・適用する (性能：※人体帶電圧 3kv 以下 ・)																													
・B種	・ループパイル	・ダブルフェースカーペット	・柄物 (標準品)																														
・C種	・カット、ループ併用	・アキミンスター	・	・適用しない																													
	下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm																																

章	項目	特記事項																																															
19 内装工事	6 カーペット敷き	<ul style="list-style-type: none"> <li>タフテッドカーペット           <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>パイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>※5~7</td> <td rowspan="4">※全面接着工法 ・グリッパー工法</td> <td>・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・)</td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>・ループパイル</td> <td>※4~6</td> <td>・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・レバーループパイル</td> <td>4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul> <p>下敷き材 (グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) ( ) 帯電性 ①適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ②適用しない 備考 ( )</li> <li>タイルカーペット           <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループパイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットパイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ①模様流し 階段部分 ※模様流し ②市松敷き 見切り、押え金物 ①適用する (材質、形状等 ※図示 ②適用しない</p> </li> </ul>	パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットパイル	※5~7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・)		・ループパイル	※4~6	・適用しない	・レバーループパイル	4		・カット、ループ併用			パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考	※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5					
パイル形状	パイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																													
・カットパイル	※5~7	※全面接着工法 ・グリッパー工法	・適用する (性能: ※人体帯電圧 3kv 以下 ・)																																														
・ループパイル	※4~6		・適用しない																																														
・レバーループパイル	4																																																
・カット、ループ併用																																																	
パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考																																												
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																													
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																													
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																													
	⑦ 合成樹脂塗床	(19.4.2) (19.4.3) (表 19.4.4) (表 19.4.5)																																															
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎厚膜型塗床材 (弹性ウレタン樹脂系塗床)</td> <td>給食室</td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ◎防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)</td> <td></td> <td>・薄膜流し展ベ工法 ・厚膜流し展ベ工法 ・樹脂モルタル工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)</td> <td></td> <td>※製造所の指定による</td> <td>工程 塗布量 (kg/m<sup>2</sup>) ※0.25kg/m<sup>2</sup>以上 表面仕上げ ※平滑 ①防滑 溶剤 ※水性 ②溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗料のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外</p>	種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	◎厚膜型塗床材 (弹性ウレタン樹脂系塗床)	給食室		※平滑仕上げ ◎防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流し展ベ工法 ・厚膜流し展ベ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ) ※0.25kg/m <sup>2</sup> 以上 表面仕上げ ※平滑 ①防滑 溶剤 ※水性 ②溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色																											
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																														
◎厚膜型塗床材 (弹性ウレタン樹脂系塗床)	給食室		※平滑仕上げ ◎防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																														
・厚膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)		・薄膜流し展ベ工法 ・厚膜流し展ベ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																														
・薄膜型塗床材 (エポキシ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																														
・アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970) (防塵塗料塗り)		※製造所の指定による	工程 塗布量 (kg/m <sup>2</sup> ) ※0.25kg/m <sup>2</sup> 以上 表面仕上げ ※平滑 ①防滑 溶剤 ※水性 ②溶剤系 ・無溶剤系 仕上げ色 ※標準色																																														

章	項目	特記事項					
19 内装工事	⑩ せっこうボード その他ボード張り	(19.7.2) (19.7.3) (表 19.7.1)					
		種類	JIS 記号	厚さ(mm), 規格等			
		・硬質木毛セメント板	HW	・15	・20	・25	・
		・中質木毛セメント板	MW	・15	・20	・25	・
		・普通木毛セメント板	NW	・15	・20	・25	・
		・硬質木片セメント板	HF	・12	・15	・18	・21
		・普通木片セメント板	NF	・30	・		
		◎けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ2 (無石綿)	・6	・8	◎5
		・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9(不燃))	・12(不燃)	・	)
				・凹凸タイプ (・12(不燃))	・15(不燃)	・19(不燃)	)
		・ロックウール吸音ボード 1号	RW-B	・25	・		
		・グラスウール吸音ボード 32K	GW-B	・25(ガラスクロス包)	・		
		◎せっこうボード	GB-R	※12.5(不燃)	・15(不燃)		
		・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃)	・化粧無(下地張り用)		
					・化粧有(トラバーチン模様)		
		・シージングせっこうボード	GB-S	12.5(※不燃)	・準不燃)		
		・強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃)	・15(不燃)		
		・せっこうラボード	GB-L	9.5			
		・化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5(不燃)	幅 440mm 程度		
					模様(※柾目)	・板目)	専用下地材有り
		・化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5(準不燃)			
		・普通合板		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※程度)	・		)
				不透明塗料塗り (※しな程度)	・		)
				板面の品質	(		)
				接着の程度	(・1類	・2類)	
				厚さ(mm)	(		)
				・防虫処理	・		
		・天然木化粧合板		化粧板の樹種名	(		)
				接着の程度	(・1類	・2類)	
				厚さ(mm)	(		)
				・防虫処理			
		・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法	(・オーバーレイ・プリント・塗装)		
				表面性能	(		)
				接着の程度	(・1類	・2類)	
				厚さ(mm)	(		)
				・防虫処理			
		・メラミン樹脂化粧板		・JIS K 6903による	(※1.2	・	)
		・ポリエチル樹脂化粧板					
		・ミディアムデジティ ファイバーボード	MDF	・3	・7	・9	・12
		・単板張りパテイクルボード		・無研磨板 VN	・研磨板 VS		
				・10	・12	・15	・18
		・化粧パテイクルボード		・単板オーバーレイ DV	・プラスチックオーバーレイ DO		
				・塗装 DC			
				・10(難燃)	・12(難燃)	・	
		・ハートボード(素地)	HB	・未研磨板	(・スタンダード	・テンパーード)	RN
				・研磨板	(・スタンダード	・テンパーード)	RS
		・ハートボード(化粧)	HB	・内装用 DI	・外装用 DE		
				・2.5	・3.5	・5	・7
		・インシュレーションボード	IB	A級	(・天井仕上げ	・内装仕上げ	・
				・9	・12	・15	・18
		せっこうボード等の下地は図示による。					

章	項目	特記事項																																																			
19 内装工事	10 せっこうボード その他ボード張り	遮音シール材 · 適用する (・シーリング材 · ジョイントコンパウンド) · 適用しない 合板類, MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 · 合板類の張付け ※B種 · A種 せっこうボードの目地工法 · 仕上表による ·																																																			
	11 壁紙張り	ホルムアルデヒドの放散量 · ※規制対象外 · (19.8.2), (19.8.3) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>プラスチック</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>※不燃</td> <td>· 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>※不燃</td> <td>· 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>※不燃</td> <td>· 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>·</td> <td>※不燃</td> <td>· 準不燃</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> モルタル・プラスター面の素地ごしらえ · ※B種 · A種 コンクリート・ALC面の素地ごしらえ · ※B種 · A種 せっこうボード面の素地ごしらえ · ※B種 · A種								施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃		·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃		·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃		·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																														
	紙	繊維	プラスチック	無機質	その他																																																
·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃																																															
·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃																																															
·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃																																															
·	·	·	·	·	※不燃	· 準不燃																																															
⑫	断熱材	ロックウール, グラスウール, フェノールフォーム, ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材, 保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ◎グラスウール厚 100 24K ※規制対象外 · · 断熱材打込み工法																																																			
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>· ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>·</td> <td>·</td> </tr> <tr> <td>· 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)</td> <td>·</td> <td>·</td> </tr> <tr> <td>· 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>·</td> <td>·</td> </tr> <tr> <td>· フェノールフォーム断熱材</td> <td>·</td> <td>·</td> </tr> <tr> <td>· ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">※押出法ポリスチレンフォーム 保温材 (スキンなし)</td> <td>· 保温板 (2種 b)</td> <td>· 25 ·</td> <td>·</td> </tr> <tr> <td>· 保温板 (3種 b)</td> <td>· 25 ·</td> <td>· 接地部分</td> </tr> <tr> <td>·</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>· A種硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>·</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>· フェノールフォーム保温材 (3種 2号を除く)</td> <td>·</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> · 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種 1 · B種 1 厚さ (mm) · 25 · 30 · 施工箇所 · 図示 · · 現場発泡断熱材								種類	厚さ (mm)	施工箇所	· ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	·	·	· 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	·	·	· 硬質ウレタンフォーム断熱材	·	·	· フェノールフォーム断熱材	·	·	· ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材			※押出法ポリスチレンフォーム 保温材 (スキンなし)	· 保温板 (2種 b)	· 25 ·	·	· 保温板 (3種 b)	· 25 ·	· 接地部分	·			· A種硬質ウレタンフォーム保温材	·			· フェノールフォーム保温材 (3種 2号を除く)	·										
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																																			
· ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	·	·																																																			
· 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)	·	·																																																			
· 硬質ウレタンフォーム断熱材	·	·																																																			
· フェノールフォーム断熱材	·	·																																																			
· ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材																																																					
※押出法ポリスチレンフォーム 保温材 (スキンなし)	· 保温板 (2種 b)	· 25 ·	·																																																		
	· 保温板 (3種 b)	· 25 ·	· 接地部分																																																		
	·																																																				
· A種硬質ウレタンフォーム保温材	·																																																				
· フェノールフォーム保温材 (3種 2号を除く)	·																																																				

章	項目	特記事項					
20 ユニット及びその他工事	14 カーテン	(20. 2. 14)					
		形式		開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所
		・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランジひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・
		・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランジひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレーンひだ、片ひだ		・図示 ・
		暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり					
		※300mm 以上					
	15 カーテンレール	(20. 2. 14)					
		材種	※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材 ・ステンレス製				
		形式	・シングル      ・ダブル ・片引き      ・引分け				
		強さによる区分	※10-90				
		仕上げ	※アルマイト				
		形状	※角形				
	16 ブラインドボックス 及び カーテンボックス	溝幅×深さ (mm)	・90×150	・120×80	※120×150	・150×80	・図示
		材質	・集成材 (仕上げ: ・アルミニウム製      押出し型材 (市販品) 表面処理      C-1 ・C-2 (・アンバー      ブロンズ      ブラック系      ステンカラー) ・ 皮膜等の種類	※標準仕様書表 14. 2. 1 による			
			・鋼製 (仕上げ: )				
	⑯ 天井点検口						
		材種	寸法	形式		外枠	内枠
		※アルミニウム製 ・	◎450×450 ・600×600 ・	◎一般形 ◎屋内用 ・気密形	・屋内外用 ・目地タイプ	◎額縁タイプ ・目地タイプ	◎額縁タイプ ・目地タイプ
	18 床点検口						
		材種	寸法	形式		備考	
		・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き	
		・密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする					

集計表

A既存部 B増築部

名 称		数 量	(員 数)		合 計
外部足場	900W	4.20 × 5.40	2.00	22.68	
		7.80 × 5.40	1.00	42.12	
		1.50 × 5.40	1.00	8.10	
				72.90	73.0 m <sup>2</sup>
仮設材運搬					73.0 m <sup>2</sup>
安全手すり					m
仮設材運搬					m
撤去					
シャター撤去	B	2.50 × 2.70		6.75	m <sup>2</sup>
			1.00		式
シャターアンダーボード撤去	A	2.50		2.50	m
			1.00		式
木製棚撤去	A	4.80 × 0.60	2.70	2.88	
			1.00		0.0 個所
木製棚撤去	A	2.50 × 0.60	2.70	1.50	
					0.0 個所
(木材)					
	0.05	0.05	2.70	18	0.01
	0.05	0.05	4.80	10	0.01
	0.01	4.80	0.60	4	0.03
	0.05	0.05	2.50	10	0.01
	0.01	2.50	0.60	4	0.02
				0.08	0.0 t
ビニルシート撤去	A	4.58 × 6.00		27.45	
	-1.85	× 1.60		-2.96	
	-2.75	× 0.50		-1.38	
	-4.80	× 0.60		-2.88	
	-2.50	× 0.60		-1.50	
				18.74	18.7 m <sup>2</sup>
防水層撤去		18.70 × ##### × 2		0.09	
防水層				0.04	
				0.13	0.1 t
タテドイ撤去	B	2.50		2.50	
	B	2.50		2.50	
				5.00	5.0 m
軽量鉄骨			W, S		
100*50*20*2.3 縦		3.90 × ×	2.00	11.00	85.80
		3.45 ×	2.00	2.00	13.80
		3.90	1.00	10.00	39.00
		3.45	1.00	6.00	20.70
		0.95	1.00	2.00	1.90
		0.90	1.00	9.00	8.10

集計表

名 称		数 量	(員 数)		合 計
	横	2.69 × 6.53	2.00 4.00	8.00 43.04 52.24	
		2.64	2.00	1.00	5.28
		1.29	2.00	1.00	2.58
		0.97	2.00	4.00	7.76
		2.69	1.00	1.00	2.69
		3.05	1.00	1.00	3.05
	斜	4.00 × 4.12	1.00	2.00	8.00 8.24
		3.80	1.00	2.00	7.60
	屋根斜	1.75	2.00	2.00	7.00
		1.20	2.00	2.00	4.80
		2.70	1.00	2.00	5.40
	床	0.50	1.00	16.00	8.00
					334.98 m
					4.06 kg/m
					1360.02 kg
					1.4 t
鋸止め		334.98	0.48		160.79 160.8 m <sup>2</sup>
L-150*150*6	ZN	2.59		2.00	5.18
		6.53		1.00	6.53
					11.71 11.7 kg/m
					t
床デッキ		6.50	0.50		3.25 3.3 m <sup>2</sup>
SS-1下見切り	SUS	3.00			3.00 m
					1.00 1.0 箇所
折版	150H	6.53	3.74	1.00	24.42 24.4 m <sup>2</sup>
ガルバ0.6					
笠木	175W	6.03		1.00	6.03
		2.30		2.00	2.30
					8.33 8.3 m
笠木コーナー	175W	2.00			2.00 2.0 箇所
笠木水切り		6.53			
ガルバ0.4		2.60			
		2.60			11.73 11.7 m

集計表

名 称		数 量			(員 数)	合 計	
谷樋	150*100	6.53			1.00	6.53	6.5 m
ガルバ0.4							
豎樋	VP100	1.20					
		2.50				3.70	3.7 m
						5.00	5.0 m
外壁							
ガルバニウム板厚0.4	B	2.74	×	3.80		2.00	10.41
TB厚12.5		6.78	×	3.80	×	1.00	25.76
		6.78	×	3.65		1.00	24.75
		-0.90	×	1.60		1.00	-1.44
		-0.90	×	2.60	×	1.00	-2.34
		-3.00	×	2.60		1.00	-7.80
		-2.55		2.60		1.00	-6.63
						42.71	42.7 m <sup>2</sup>
GW厚100		2.74	×	2.60		2.00	7.12
TB厚12.5		6.78	×	2.60	×	1.00	17.63
ケイカル板厚5		6.78	×	2.60		1.00	17.63
EP		-0.90	×	1.60		1.00	-1.44
		-0.90	×	2.60	×	1.00	-2.34
		-3.00	×	2.60		1.00	-7.80
		-2.55		2.60		1.00	-6.63
						24.17	24.2 m <sup>2</sup>
外壁下部水切		2.70				2.00	5.40
アルミ		6.80				1.00	6.80
							12.20
額,枠	SD	2.60				2.00	5.20
	AW	1.60				2.00	3.20
	SD,AW	0.85				3.00	2.55
	SS	2.60				4.00	10.40
							21.35
							21.4 m
軽量 シャター	SS-1	B	3.00	×	2.60		7.80
						1.00	1.0 箇所
軽量 シャター	SS-2	B	2.55	×	2.60		6.63
						1.00	1.0 箇所
スチールドア	SD-1	B	0.85	×	2.60		2.21
						1.00	1.0 箇所
アルミドア	AW-1	B	0.85	×	1.60		1.36
						1.00	1.0 箇所
床							
モルタル金ゴテ	厚50	B	6.49	×	2.45		15.90
		B	2.55		0.15		0.38
		B	3.00		0.10		0.30
		B	0.90		0.10		0.09
						16.67	16.7 m <sup>2</sup>

集計表

名 称		数 量			(員 数)	合 計
塗り床	ウレタン	B				
		A	4.58	×	6.00	16.70
		A	-1.85	×	1.60	27.45
		A	-2.75	×	0.50	-2.96
		A小計				-1.38
						23.12
						39.82
						39.8 m <sup>2</sup>
巾木						
塗り床薄塗り	H100	B	10.30		ワゴン受けより	10.30
		A	5.65			2.00
		A	4.65			2.00
		A	-1.80			1.00
		A	-2.55			-1.80
						1.00
						-2.55
						26.55
						26.6 m
壁						
EP		A	5.65	×	2.60	2.00
		A	4.65	×	2.60	1.00
		A	1.60	×	2.60	1.00
		A	-1.80	×	2.00	-3.60
巾木分			-19.10	×	0.10	1.00
						-1.91
						40.12
						40.1 m <sup>2</sup>
素地こしらえ						
ワゴン受け						
SUS 50*20厚1.0加工		B	1.25			2.00
			0.90			2.00
			0.65			2.00
			1.25			2.00
			2.55			2.00
			0.65			2.00
			0.90			2.00
			2.15			2.00
						20.60
						20.6 m
コーナーピート	コ'ム					
H=1000			12.00			
天井						
LGS		B	6.49	×	2.45	15.90
天井廻り縁	塩ビ	B	6.49			12.98
		B	2.45			4.90
						17.88
						17.9 m
ケイカル板厚5		B				
EP		B				15.90
		A				23.12

集計表

名 称		数 量	(員 数)		合 計		
素地こしらえ				39.02	39.0	m <sup>2</sup>	
断熱材 厚100	B				39.0	m <sup>2</sup>	
					15.9	m <sup>2</sup>	
手洗い撤去 陶器	A	1.00	×	1.00	1.00	0.0 箇所	
SUS流し							
900W*600D*800H		厨房機器品		1.00	0.0	箇所	
SUS作業台							
1500W*450D*800H		厨房機器品		1.00	1.0	箇所	
照明器具	LED	A 2.00					
		B 2.00			4.0	箇所	
天井換気扇 径150				1.00	1.0	箇所	
床カッター	150H	6.50		2.00	13.00	m	
床下壁切り(人) 200W				2.00	2.00	2.0 ケ所	
貫通径100*200		6.00		2.00	12.00	ケ所	
犬走解体復旧		0.70	0.70	2.00	0.98	1.0 m <sup>3</sup>	
床金物		2.55		1.00	2.55	2.6 m	
SUS厚2*150							
基礎コンクリート		0.20	1.10	0.77	2.00	0.34	0.3 m <sup>3</sup>
24N							
型枠		0.20		0.77	2.00	0.31	
合板			1.10	0.77	2.00	1.69	
					2.00	2.0 m <sup>2</sup>	
鉄筋	D13	1.00	4.00		2.00	8.00	
		0.70	5.00		2.00	7.00	
					15.00		
均しモルタル	100W	1.10		2.00	2.20	2.2 m	
底撤去	RC	6.50	2.15		13.98		m <sup>2</sup>
床		6.50	2.15	0.12	1.68	1.7	
壁		0.15	0.48		0.07		
		2.15	2.15	6.20	10.50	0.8	
梁		0.30	0.30	2.00	2.00	0.36	0.4
					2.79		m <sup>3</sup>

## 集計表

# H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事

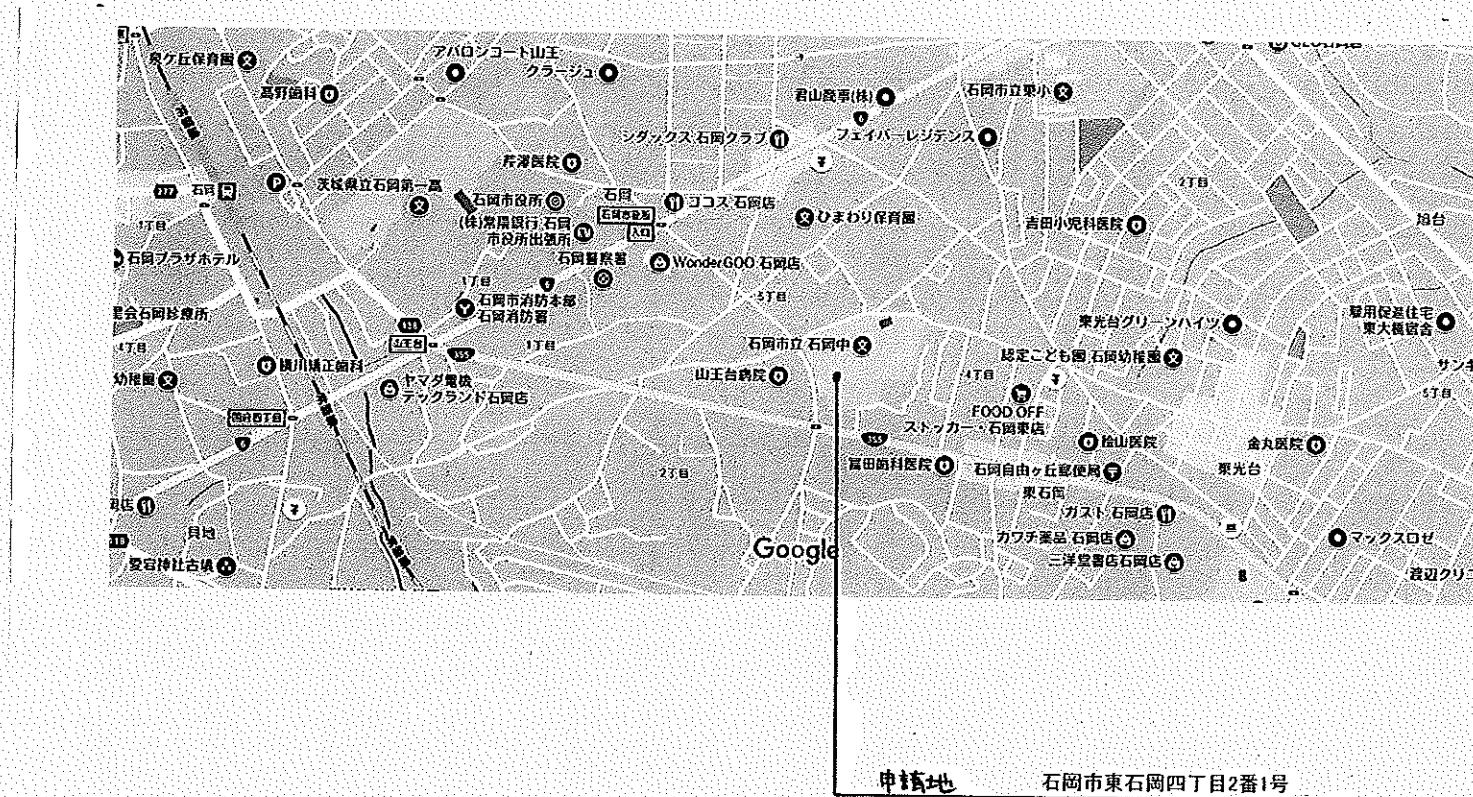
設 計 図

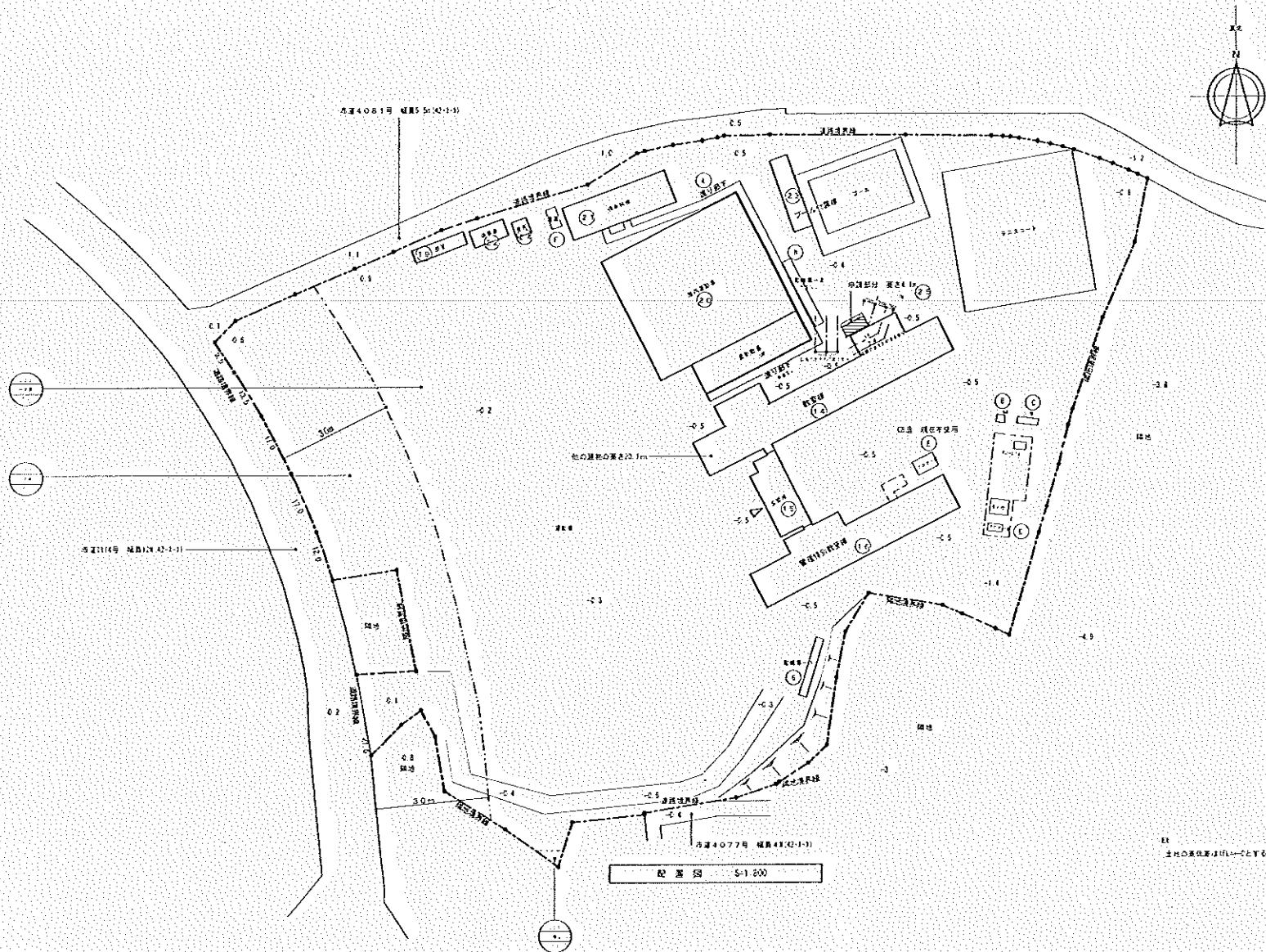
2018

図面番号	図面名	縮尺
	表紙	
A- 1	図面リスト	
A- 2	案内図	
A- 3	配置図	1/1000
A- 4	概要書,仕上表	
A- 5	面積表	
A- 6	1階平面図	1/100
A- 7	立面図、断面図	1/100
A- 8	平面詳細図	1/ 20
A- 9	詳細図	1/ 10
A- 10	建具表	1/100
A- 11	鉄骨詳細図	1/ 50
A- 12	1階平面図 (既存)	1/300
A- 13	2階平面図 (既存)	1/300
A- 14	立面図、断面図 (既存)	1/300

H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事	図面リスト	A-1

N  
↑





H30 石岡中学校 教室棟 普通教室床改修工事  
配図面 1/1000

工事概要書

工事名	H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事
建設地	石岡市東石岡四丁目2番1号
主要用途	中学校
工事種別	増改修工事
建築主	石岡市長 今泉文彦 石岡市石岡一丁目1番地1 〒315-8640 0299-23-1111
工期	平成30年 月 日～平成30年9月15日 予定
構造	鉄骨造
階数	1階建
建物高さ	最高の高さ 4.1 m 最高軒高 3.75 m
延べ床面積	17.16 m <sup>2</sup>

外部仕上表

	既存	改修	増築
屋根	シート防水 鉄筋コンクリート下地	解体 鉄筋銷止め処理	折板 ガルバニウム板厚0.6 H=150程度 軽量鉄骨下地 (不燃認定番号NM-8697)
パラペット	PC	解体	アルミキャップ、ガルバニウム板厚0.4加工水切り
ルーフドレン	鋳鉄製	解体	幅150*100程度 ガルバニウム板厚0.4加工
たてどい	鋼管	解体	VP径100 近接U型溝に接続(1本)
外壁	コンクリート吹き付けタイル		ガルバニウム板厚0.4+PB厚12.5 軽量鉄骨下地 (防火構造認定PC030NE-9109)
水切			ガルバニウム板厚0.4加工
建具	軽量スチールシャッター	防火設備(延焼) 外灯	スチール建具、アルミ建具、軽量スチールシャッター LED 1500lm程度
その他			スラブに径100スリーブ3ヶ所設けコンクリート充填
床スラブ下補強			
AW硝子	フロート硝子、線入り硝子	PW6.8 (別途工事(21枚))	

内部仕上表

室名	現況・改修	床	巾木	壁	天井	廻り縁	天井高	備考
1F 給食室	現況	ビニル床シート貼り	壁に同じ	モルタル金コテ EP	フレキシブルボード厚5mmすかしEP	カビ	2700	
(既存部)	改修	ビニル床シート撤去 塗床:ウレタン系防滑	塗床:ウレタン系 H=100	既存壁下地調整の上EP	既存部全て EP	既存	2700	給気口Φ100塩ビ 壁スリーブ 天井照明器具:LEDに交換(2ヶ所)
1F 給食室 (増築部)		塗床:ウレタン系防滑 モルタル金コテ下地 既存コンクリート床  床カッター入れ100W*150H 床下壁スリット100*200*600H 両サイドカッター入れ30	塗床:ウレタン系 H=100	ケイカル板厚5張 EP PB厚12.5下地  ワゴン受:SUS50*30加工上下2段 コーナー受コム:L=1000	ケイカル板厚5張り目すかし EP LGS下地 GW厚100	カビ 入り目地	2600	天井照明新設(2ヶ所) 天井換気扇Φ150+SUSフード新設(1ヶ所) 外灯、照明、換気扇共に天井転がし配線

床下壁スリット工事の為:既存犬走解体復旧2ヶ所、4周カッター(厚30)入れ

	H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事 工事概要書・仕上表	A-4
--	-------------------------------------	-----

建築面積	棟番号	棟名	申請部分		申請以外部分		計
	14	教室棟			954.33		
	15	玄関			689.35		
	16	管理特別教室棟			220.71		
	19	部室			50.00		
	20	屋内運動場			1,779.87		
	21	技術科棟			261.00		
	22	体育庫			43.79		
	23	フール附属棟			78.00		
	24	便所			17.85		
	A	渡り廊下			257.00		
	B	油庫			3.99		
	C	LPG庫			7.50		
	D	プロア-室-1			8.25		
	E	プロア-室-2			20.72		
	F	倉庫			14.58		
	G	駐輪場-1			39.17		
	H	駐輪場-2			46.84		
	25	給食室			18.48		
		申請以外計			4,492.95		4,492.95
		申請 計			18.48		18.48
		合計					4,511.43

\*14,15,16は1棟です

求積表 棟番号	(単位m <sup>2</sup> )						建築面積 延床面積
	25	6.630	×	2.588	=	17.15844	
25	6.63	×	2.788	=	18.48444	18.48	
E	5.6	×	3.7	=	20.72	20.72	20.72
F	2.7	×	5.4	=	14.58	14.58	14.58
G	16.32	×	2.4	=	39.168	39.17	39.17
H	19.52	×	2.4	=	46.848	46.84	46.84

延床面積	棟番号	棟名	申請部分		申請以外部分			計
			1階	2階	3階	4階	PH階	
	14	教室棟		879.89	879.89	879.89	879.89	28.50 3,548.06
	15	玄関		189.00	60.00			249.00
	16	管理特別教室棟		627.91	627.91	620.01		1,875.83
	19	部室		50.00				50.00
	20	屋内運動場		1,702.73	172.16			1,874.89
	21	技術科棟		261.00				261.00
	22	体育庫		43.79	29.53			73.32
	23	フール附属棟		78.00				78.00
	24	便所		17.85				17.85
	A	渡り廊下		257.00				257.00
	B	油庫		3.99				3.99
	C	LPG庫		7.50				7.50
	D	プロア-室-1		8.25				8.25
	E	プロア-室-2		20.72				20.72
	F	倉庫		14.58				14.58
	G	駐輪場-1		39.17				39.17
	H	駐輪場-2		46.84				46.84
	25	給食室		17.16				17.16
		申請以外計		4,248.22	1,769.49	1,499.90	879.89	28.50 8,426.00
		申請 計		17.16				17.16
		合計						8,443.16

\*14,15,16は1棟です

容積率緩和適用面積(G+H)=86.01m<sup>2</sup>

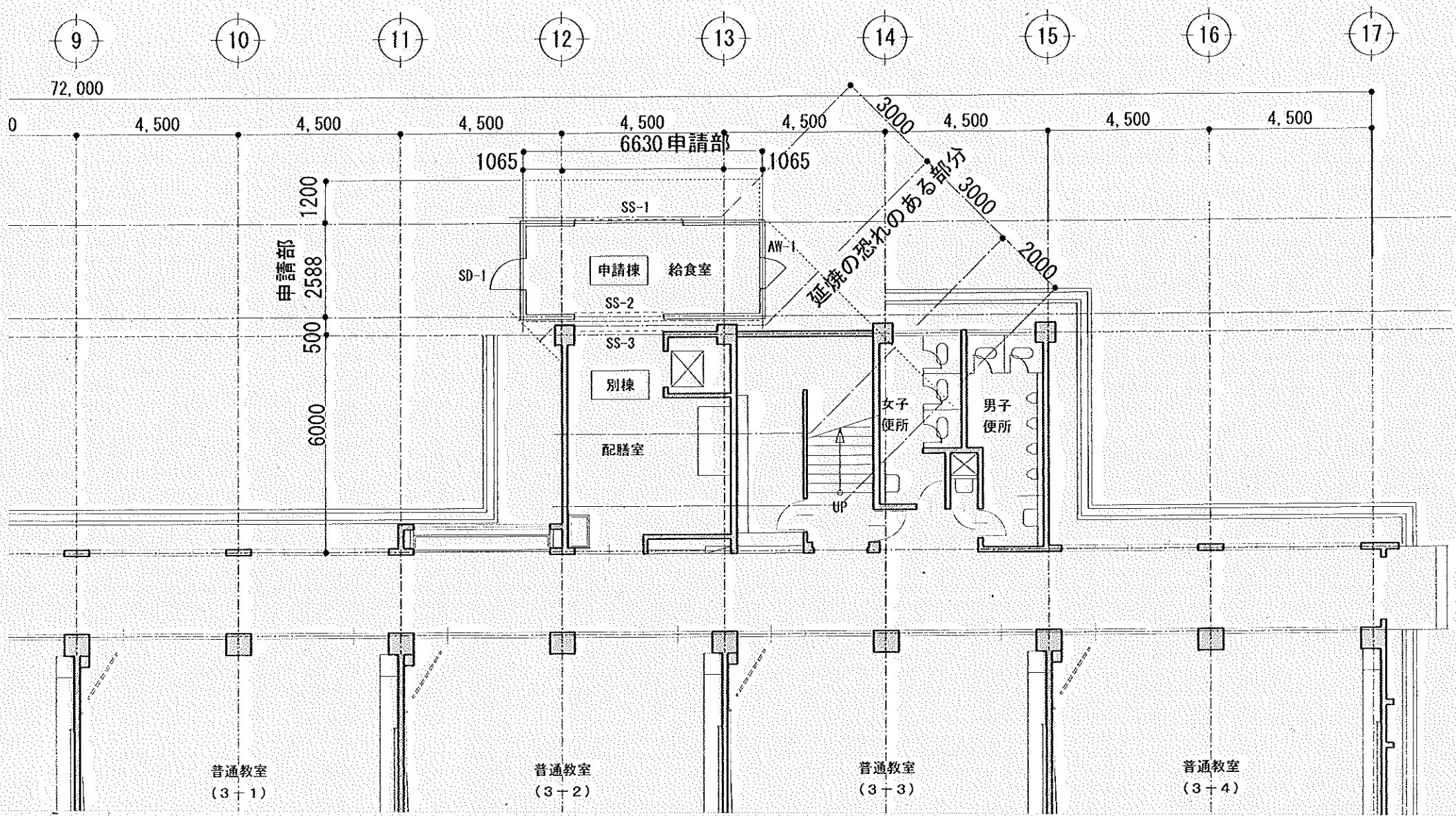
8,357.15 容積率面積

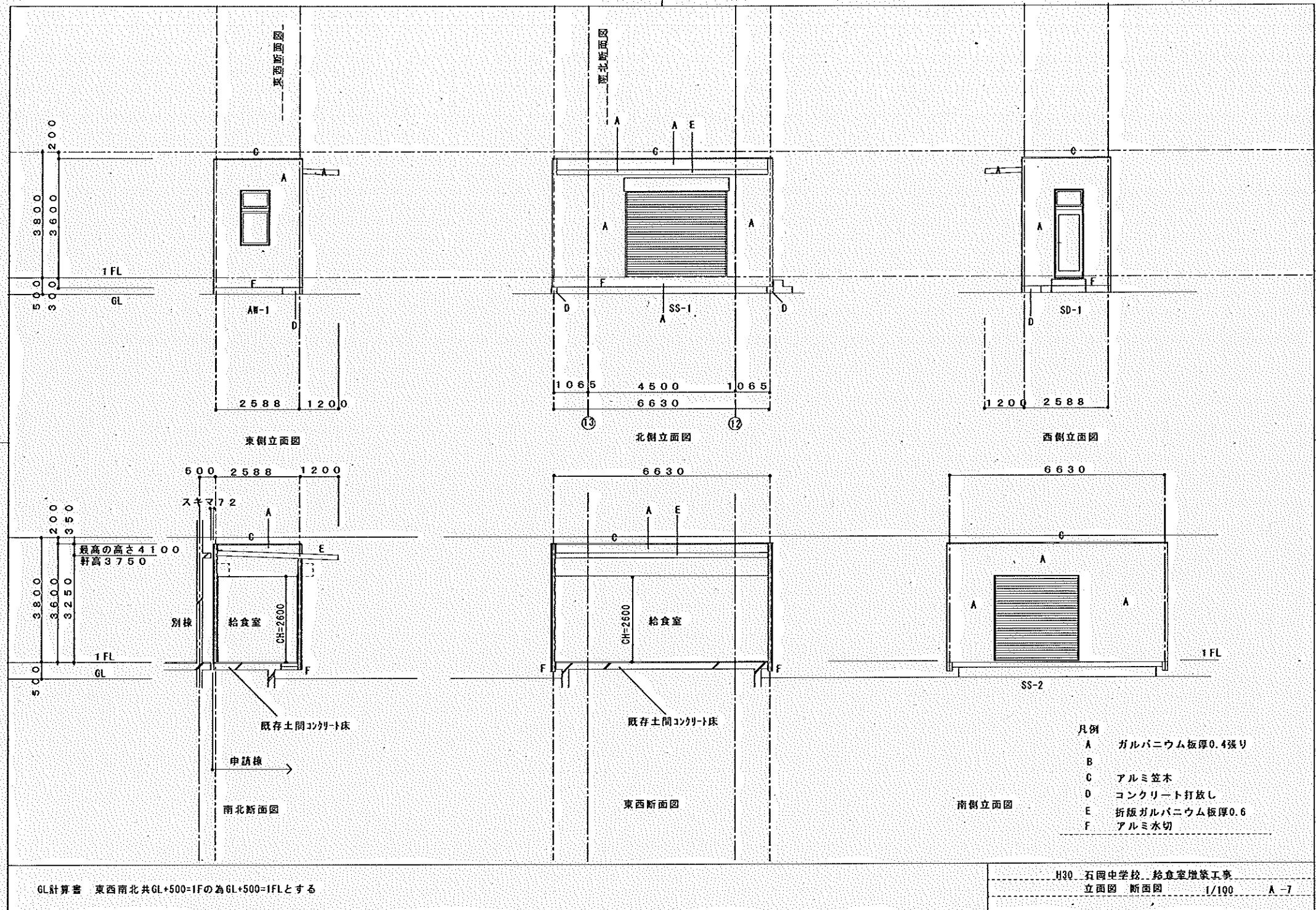
敷地面積	25,374.00	(直近確認申請平成8年10月24日石第323号面積使用)	25,374.00	(単位m <sup>2</sup> )
建ぺい率	MAX=200	4,511.43	÷ 25,374.00 * 100 = 17.77974</td <td>17.78 %</td>	17.78 %
容積率	MAX=60	8,357.15	÷ 25,374.00 * 100 = 32.93588</td <td>32.94 %</td>	32.94 %

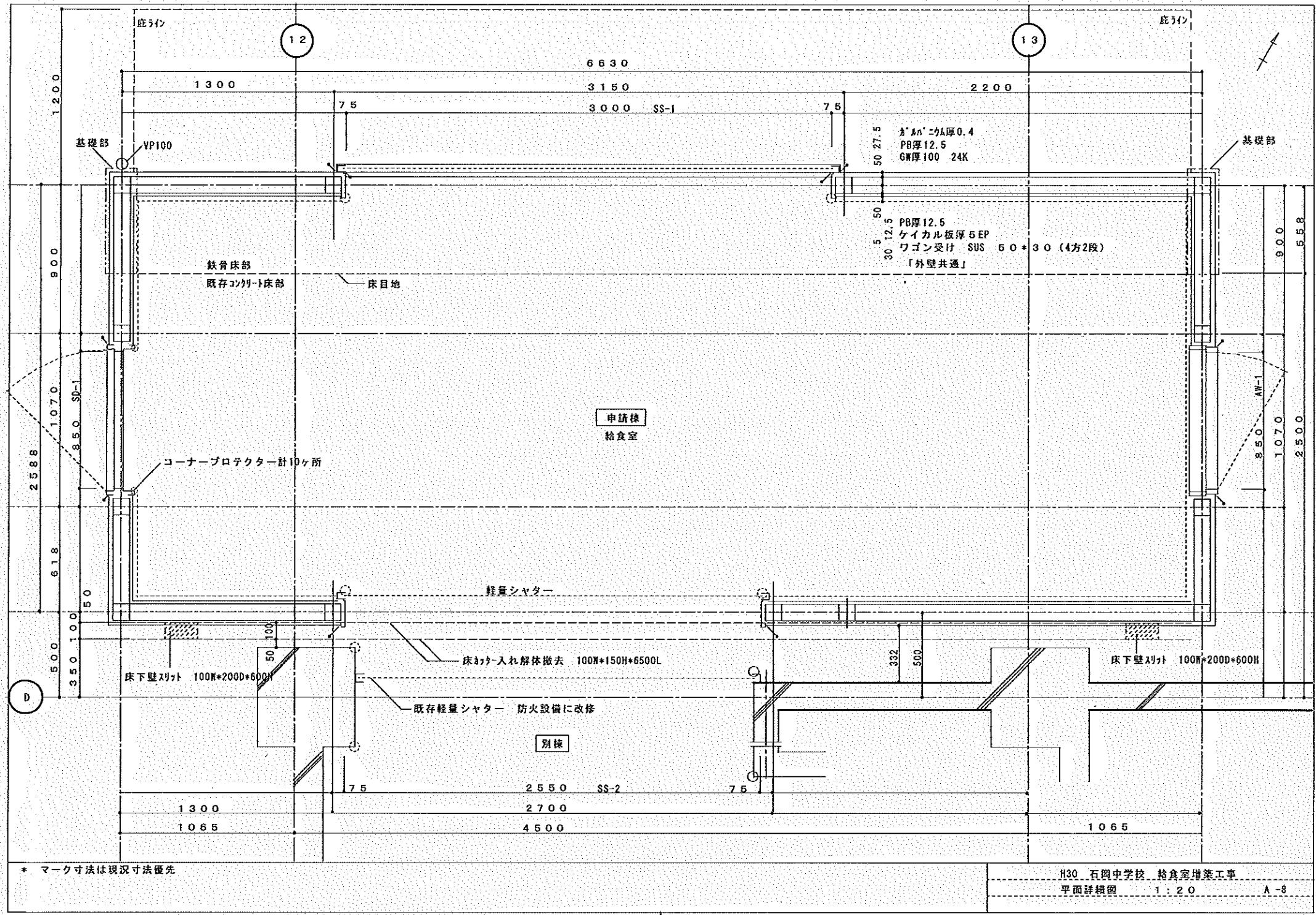
構造:コンクリートブロック造、下水道放流の為未使用

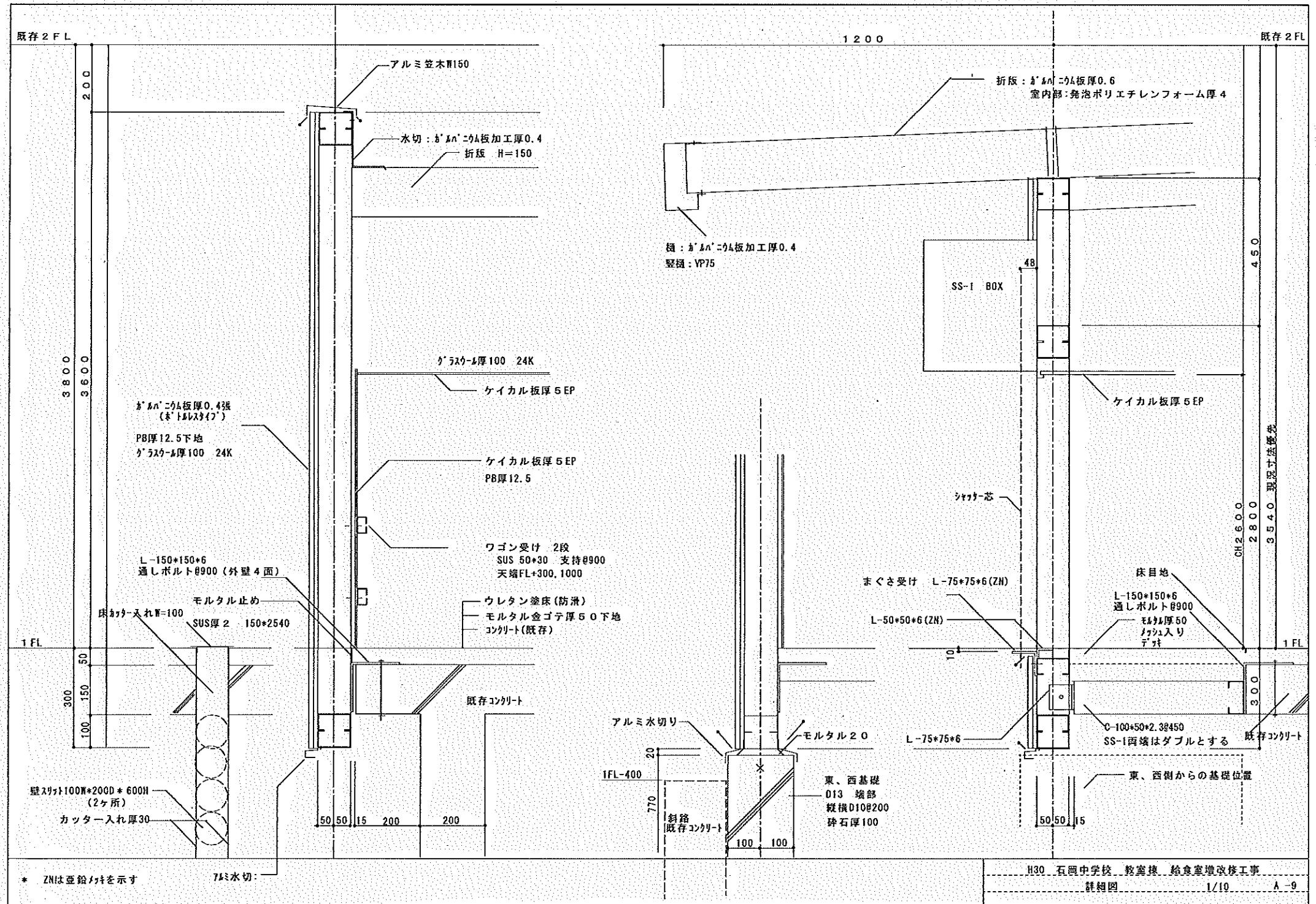
容積率緩和適用

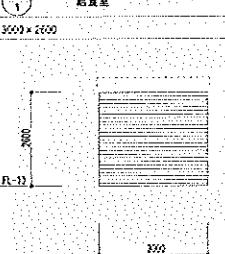
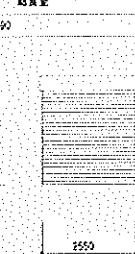
容積率緩和適用

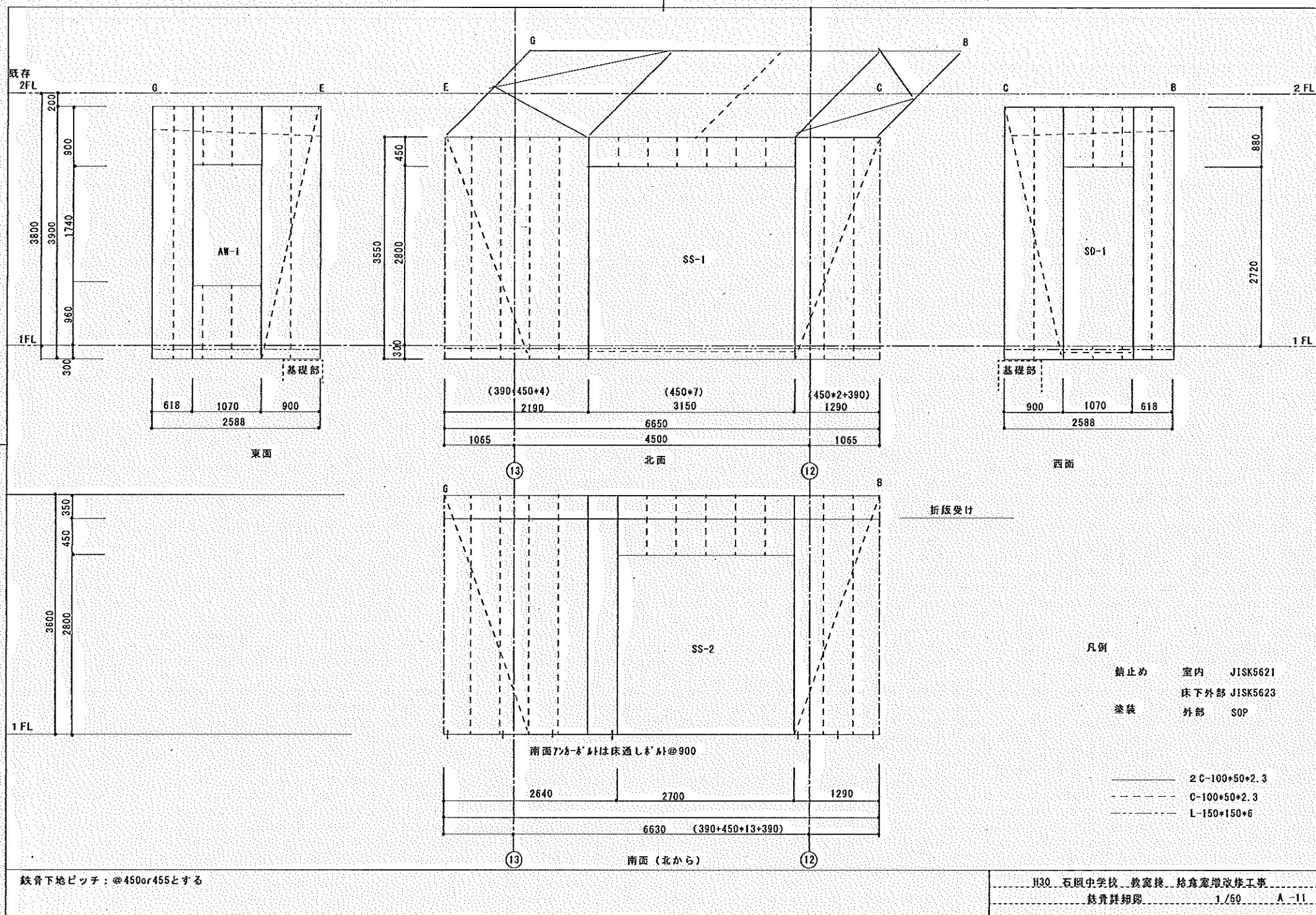


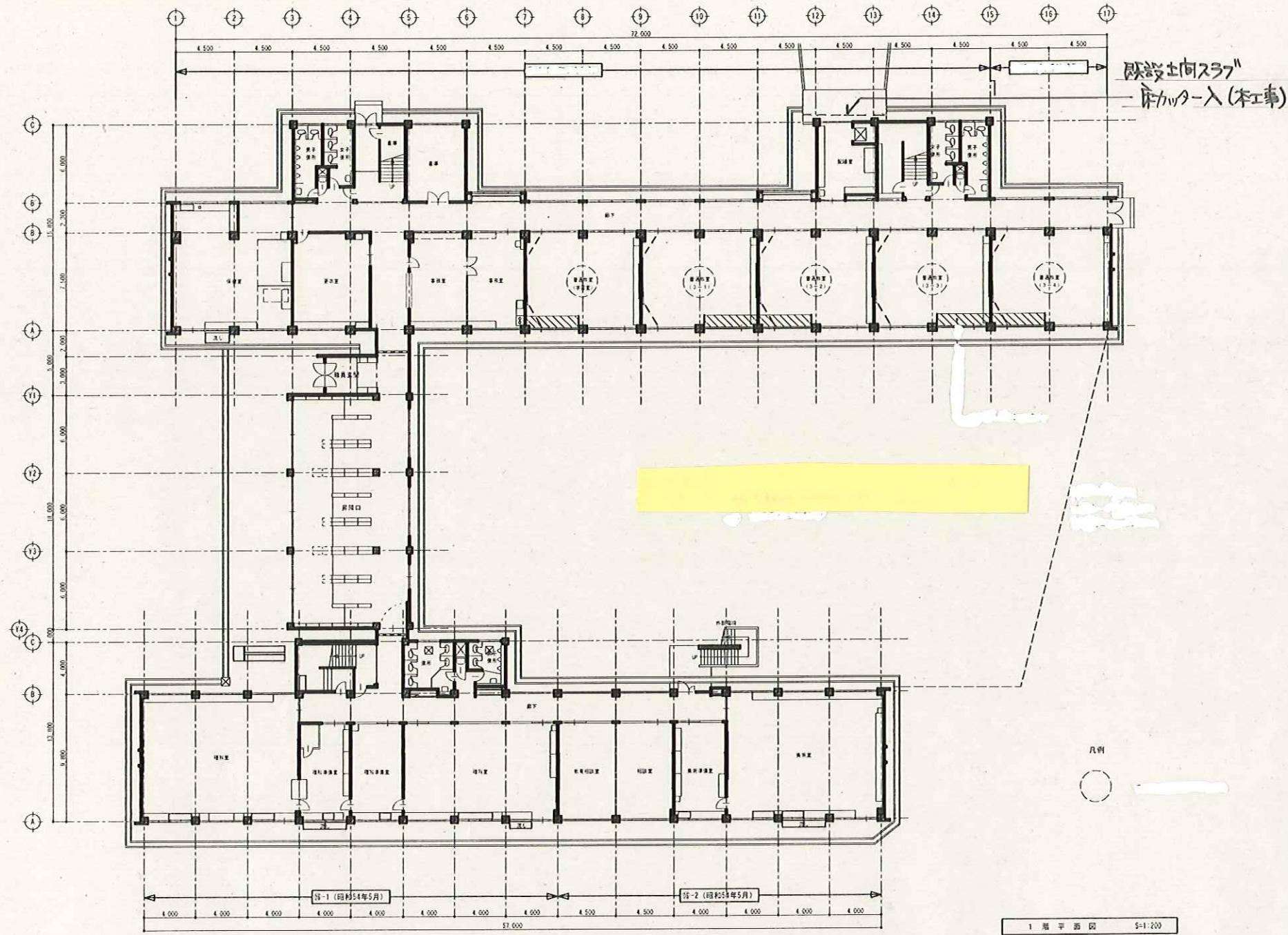


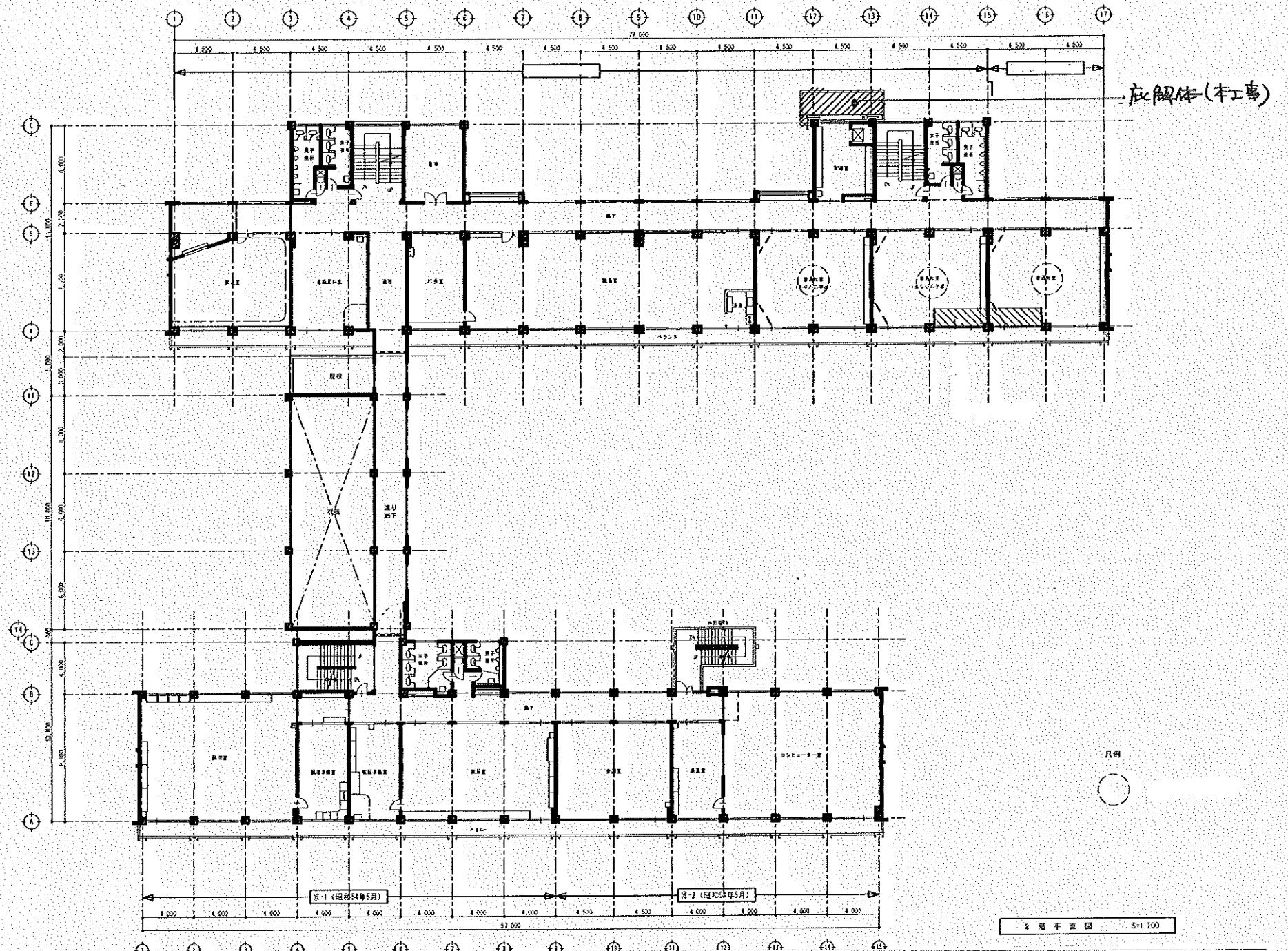




記号・場所	1 組食室	11 組食室	55 組食室	55 2 組食室	
寸法 (W×H)・数量	850×2500 1	850×1620 1	3600×2600 1	2550×1590 1	
表面					
名称	外削しランマ付片開き扉ドア	外削しランマ付片開き扉	組食シャッター	組食シャッター	
材料・仕上げ	スチールSUS スチールSUS厚大枠、表面SUS	スチールSUS厚大枠、表面SUS	スチール厚0.8 組合付けまわし	スチール厚0.8 焼き付けまわし	スチールSUS厚大枠
ガラス・見込み	PE 6.8 見込: 4.0	PE 6.8 見込: 7.0			
金物	丁番、DC本締り取付ペインド、オペレーター、戸当り 附錠金物一式	オペレーター 附錠金物一式	附錠金物一式	附錠金物一式	
備考	セミエアタイト 組室側マスターキーに組み込む				
記号・場所					
寸法 (W×H)・数量					
表面					
名称					
材料・仕上げ					
ガラス・見込み					
金物					
備考					
記号・場所					
寸法 (W×H)・数量					
表面					
名称					







H30 石岡中学校 教室棟 給食室増改修工事  
2階平面図 (既存) 1/300

